

ダイキン ヒートポンプ式マルチ床暖房
据付説明書 **開放型**

二次元バーコードは製造用コードです。

安全上のご注意

- 据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

<p>警告 誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。</p>	<p>注意 誤った据付けにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。</p>
---	---

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

<p> 指示を守る</p>	<p> アース線接続</p>	<p> 禁止</p>
----------------------	-----------------------	-------------------

- 据付工事完了後および各種設定確認後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

警告	
<ul style="list-style-type: none"> ●据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で据付けされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。 ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。 ●設置工事部品は、必ず付属品および指定の部品を使用する。 指定部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災の原因になります。 ●据付けは、質量に十分耐える所に確実に行う。 強度不足や取付けが不完全な場合、ユニットの落下により、けがの原因になります。 ●据付工事は、必ず電源を切って行う。 電源を入れたまま電気部品に触れると感電の原因になります。 ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると、火災や感電の原因になります。 ●アース工事は、必ずD種接地工事を行う。 アース線は、ガス管や水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合、感電や火災の原因になります。 ●漏電しゃ断器を必ず取り付けます。 漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因になります。 ●配線を途中で接続しない、電源コードを束ねない、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。 施工不備があると、発熱や感電、火災の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、所定の電線を使い確実に接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する。 接続や固定が不完全な場合、発熱や感電、火災の原因になります。 ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、閉鎖弁カバーなどの構造物が浮き上がらないよう電線を成形し、カバーを確実に取り付ける。 カバーの取付けが不完全な場合、端子部の発熱や感電、火災の原因になります。 ●床暖房ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させない。 空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。 ●指定冷媒(R410A)以外は使用しない。 機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。 ●据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける。 冷媒配管が取り付けられておらず、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。 ●ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したまま、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。 ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気する。 冷媒ガスが漏れると、有毒ガスが発生する原因になります。 ●設置工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーターやコンロ、ストーブなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。 ●配管・フレアナット・工具は指定冷媒(R410A)専用のものを使用する。 既存冷媒(R22)の部品を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。

注意	
<ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない。 万一ガスが漏れて、ユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。 ●フレアナットはトルクレンチなどで指定の方法で締め付ける。 フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房ユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置しない。 小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になります。 また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

据付場所の選定

- 下記断熱が施された住宅であることを確認してください。

適用地域	年最低気温がおおむね -5℃以上の地域	年最低気温がおおむね -20℃以上の地域
住宅の断熱仕様 (住宅金融公庫 省エネルギー住宅)	一般型であることが 必須条件 (次世代型を推奨)	次世代型であることが 必須条件

- 数詰め率が不足する場合は、補助暖房を設置してください。
- 年最低気温が-10℃を下回る地域や、昼間も0℃以下の気温が数日続く地域、凍結が頻繁に起こるような地域は指定不凍液を使用してください。
- 温水パイプ部分で凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱を増すか、凍結のおそれのない場所に設置してください。
- 据付場所は、お客様の同意を得て決定してください。

ワイヤードリモコン

- ワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。

室外ユニット

- 室外ユニットの据付説明書をご覧ください。

床暖房ユニット

- 製品の重量に耐え、水平に据付けできる所。
- (床暖房ユニットの据付け) 据付パターンで示す据付スペースが守れる所。
- 水が流出しても支障のない所。
(防水・排水ができる所)
- 雨、強風、直射日光があたりにくい所。
- 消防法および都道府県の条例などを満足する所。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
- 海岸地域など塩分が多い所、硫化ガス成分が多い所、機械油など油の蒸気が発生する所では、床暖房ユニットの寿命が短くなる場合があります。
- 運転音が隣家の迷惑にならない所。
(特に隣家との境界線では、環境基本法第16条に基づく騒音に係る環境基準および都道府県の条例などを満足すること。)
- 屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した所。(物置、納戸、機械室等)
- テレビ、無線機などのアンテナより3m以上間隔を取れる所。

床暖房パネル

- 指定されたお部屋に敷設してください。

据付工事のポイント

床暖房ユニット

工事のポイント	記載箇所
●本機は、 200V専用室外電源機 です。 電源電圧に注意し、電源仕様を確認の上、配線工事を行ってください。	床暖房ユニットの据付け① 4 配線工事
●必ず漏電しゃ断器の取り付け、D種接地工事を行ってください。	
●床暖房パネルの温水パイプは、地域に合った断熱を施してください。	床暖房ユニット据付図
●床暖房パネルの温水パイプは、系統1から順に接続します。	床暖房ユニットの据付け② 3 温水パイプの接続
●電源ブレーカーを入れた後に、メインリモコンで初期設定を行ってください。	①電源投入
●冬期にお客様への引き渡しまでに、電源ブレーカーを切られる場合には、必ず水抜きを行ってください。また、引き渡し時には給水してください。 (指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。)	取扱説明書「長期間使わないとき」参照
●電源投入後は、下記の手順に従って試運転を行ってください。 ①床暖房ユニットの給水運転 ②室外ユニットの誤配管・誤配線チェック ③床暖房ユニットの試運転 ④室内ユニットの試運転 ⑤通常運転	⑥給水運転 ⑧試運転 室外ユニットの据付説明書を参照
●屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した設置場所を選んでください。 (物置、納戸、機械室等)	床暖房ユニットの据付け①

床暖房用部材

- 床暖房用部材の施工方法は、各種床暖房パネルに付属の工事説明書をご参照ください。

床暖房用部材工事のポイント

- 床暖房パネルと床材が、カタログなどに記載の推奨品であることを確認してください。
推奨品以外の場合は暖まりが悪くなったり、床材にすき間やひび割れが生じることがあります。
- 床暖房の能力を十分に発揮させるためには、床暖房パネルの面積は床面積の70%が標準で、最低60%以上は必要です。
- 木質フローリングの方向によって、床暖房パネルを敷く方向が決まります。木質フローリングの方向と床暖房パネルの小根太の方向とが直交するように、床暖房パネルを敷いてください。
- 床暖房パネルの小根太部以外には、絶対に木ネジや釘などを打たないでください。パイプを損傷し、水漏れの原因となります。
- 施工時および養生時に床暖房パネル表面や温水パイプを傷つけないでください。
- 温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂(リモコンコード、電源コードなど)を接触させないでください。パイプが劣化します。
- 温水パイプは直射日光があたらないように施工・養生してください。パイプが劣化します。
- 室外ユニットの据付け前に、床暖房パネルの漏れないことを確認してください。気密テストはゲージ圧力196kPa(2kgf/cm²)で1時間以上行ってください。(できるだけ製品の据付け時まで、放置してください。)気密テストに水を使用する場合は、凍結に注意してください。

別 売 品

リモコンコード

品 名	品 番	
リモコンコード (2芯)	5m	KRCW301A05
	8m	KRCW301A08
	12m	KRCW301A12
	20m	KRCW301A20
	50m	K-RW2050A
	100m	K-RW2100A

5~20mはY端子付きです。リモコン側はY端子をカットして使用願います。

- 必要な距離に応じて、該当するリモコンコードを用意してください。
- 合計線長は50m以下にしてください。

床暖房用手配部材

- 別途下記の床暖房用部材が必要です。
 - ・床暖房パネル
 - ・温水パイプ
 - ・温水床暖房用ポリエチレン製CD管
(条件により断熱が必要です。)
 - ・CHジョイント
 - ・CHクリップ
 - ・CH止水栓
 - ・Lバンド

床暖房パネルによって異なります。
詳しくは、カタログなどをご覧ください。

指定不凍液

- 地域により必要です。
品番：KM-37
(同等品、ショーワ(株)製 M-37)

増設リモコン




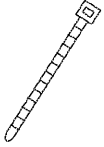


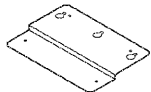
- 2台のリモコンで操作する場合に必要です。
品番：KRC986A1

置 台

- 床置き設置する場合に必要です。
品番：KKS023A4

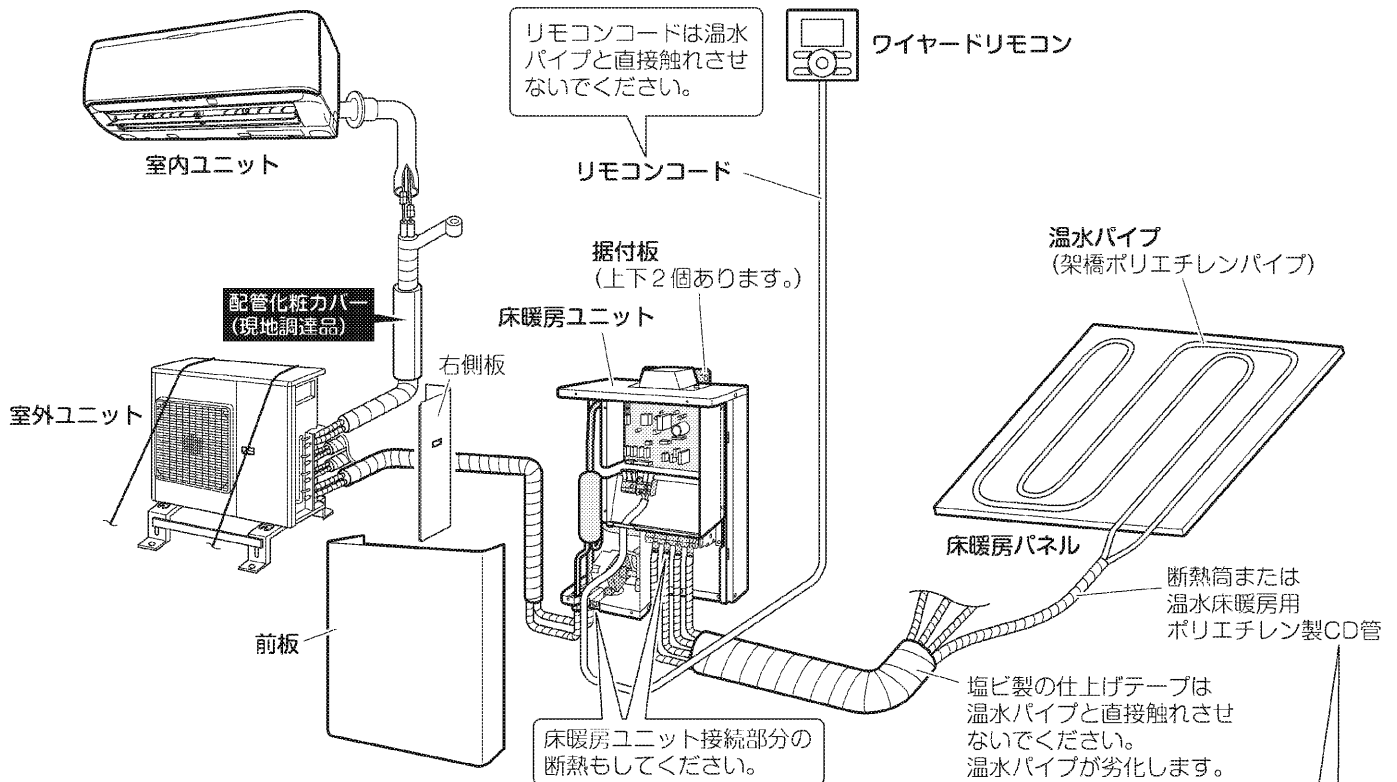
付 属 部 品

※リモコンコードは別売品です。

リモコンセット						据付板	取扱説明書 (1部) 据付説明書 (2部) 保証書 (1部)
ワイヤード リモコン	木ネジ	小ネジ	結束バンド	配線押さえ	床暖房ユニット側 結束バンド		
							
(1個)	(2本)	(2本)	(1本)	(1個)	(1本)	(2個)	

床暖房ユニット据付図

室内ユニット、室外ユニットの据付けについてはそれぞれに付属の据付説明書を参照してください。



断熱筒は、架橋ポリエチレンパイプ用または発泡ポリエチレンフォーム製冷媒配管用(肉厚10mm以上、耐熱80℃以上)を使用してください。

下記の場合は、温水床暖房用ポリエチレン製CD管を使用することも可能です。

- 最低気温がおおむね-5℃以上の地域
- 温水パイプ部で凍結のおそれがない場合
- 床暖房ユニットから床暖房パネル入口までの温水パイプ長が10m以下の場合

注)床暖房ユニットから床暖房パネル入口までの温水パイプで凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱筒を厚くするか、凍結のおそれのない場所に据え付けてください。

- 床暖房ユニットを屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した設置場所を選んでください。(物置、納戸、機械室等)

■冷媒配管の許容長さ・床暖房ユニット設置時の各ユニット間高低差

室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。

施工制約

床暖房パネルの施工制約

- 床暖房パネルは、DMU36NVでは最大2系統、DMU50NVでは最大4系統まで接続できます。

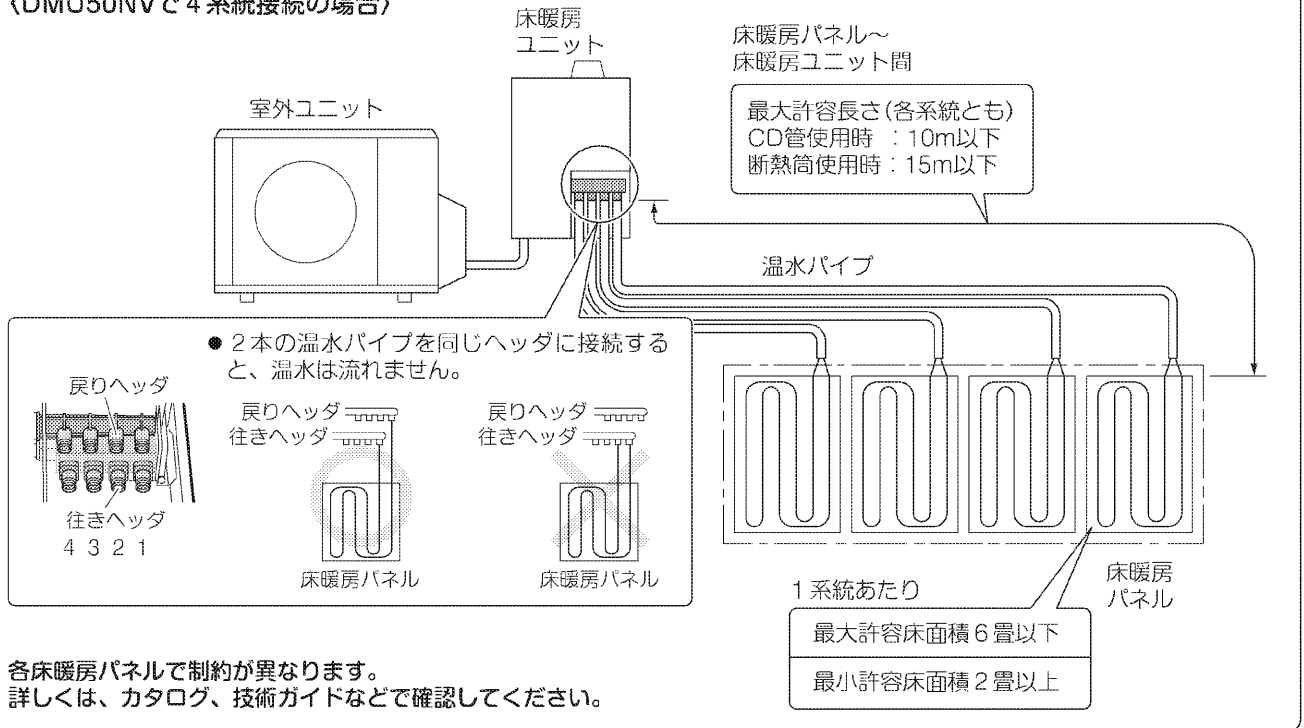
機種毎の最大接続系統数

DMU36NV	DMU50NV
2	4

- 床暖房パネルを敷詰める面積は、床面積の70%が標準です。
最低60%以上は敷き詰めてください。

〈標準設置例〉

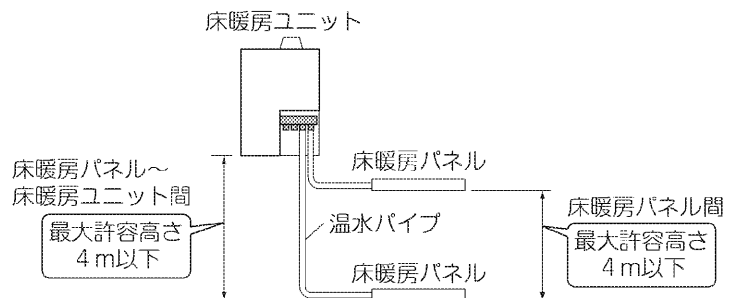
〈DMU50NVで4系統接続の場合〉



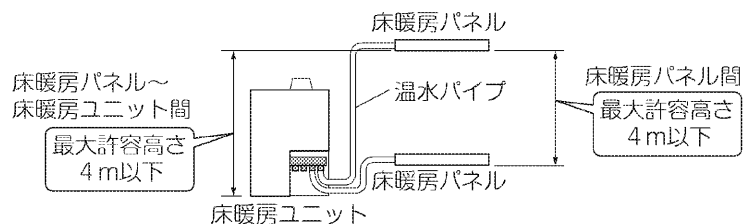
床暖房パネルの最大許容高低差

- 床暖房ユニット、床暖房パネルの最大許容高低差は以下の通りです。

床暖房ユニットが床暖房パネルよりも上設置の場合



床暖房ユニットが床暖房パネルよりも下設置の場合

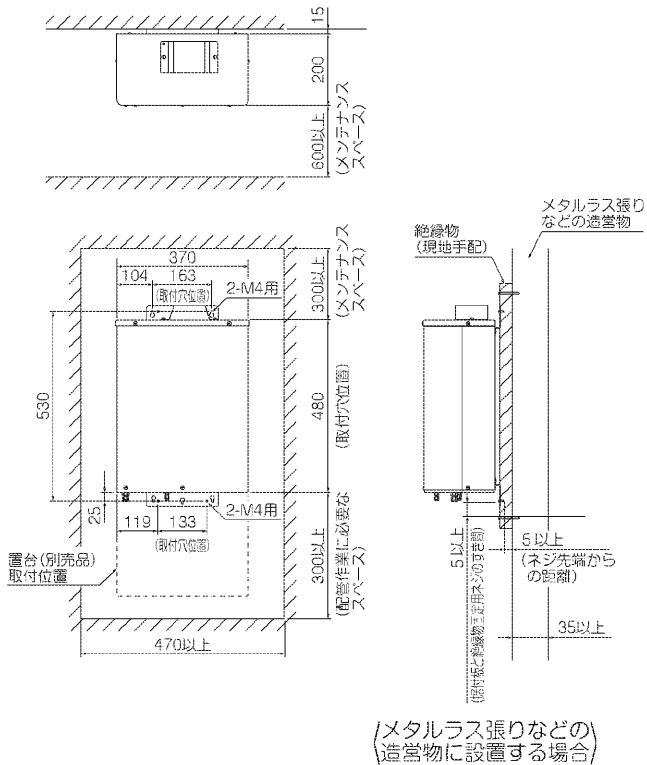


床暖房ユニットの据付け①

1 壁掛け設置

【寸法図】

(単位: mm)

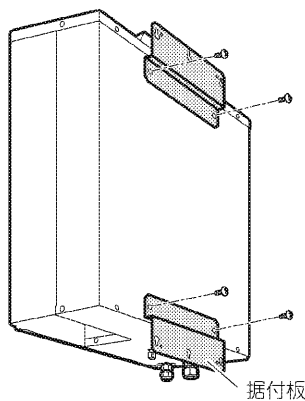


注意

- 必ず垂直な壁に据え付けてください。
- 床暖房ユニットを屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した設置場所を選んでください。(物置、納戸、機械室等)

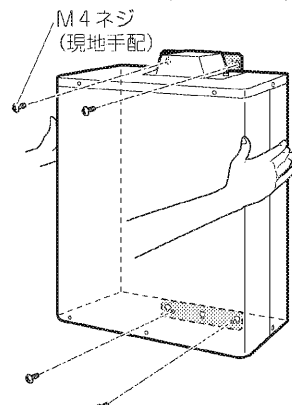
① 据付板を取り付ける(2個)

- 床暖房ユニットの背面に、取り付けてあるネジを外し、付属の据付板を取り付ける。(ネジ4カ所)



② 壁面に床暖房ユニットを取り付ける

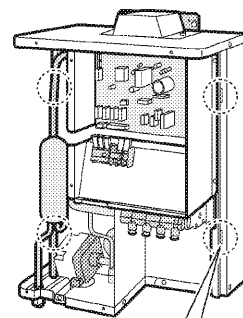
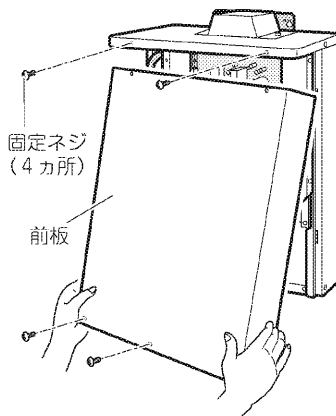
- 壁に取り付ける。(ネジ4カ所)



※壁面がメタルラス張りなどの造営物の場合、床暖房ユニットと壁面の間に、絶縁物を入れてください。

③ 前板を取り外す

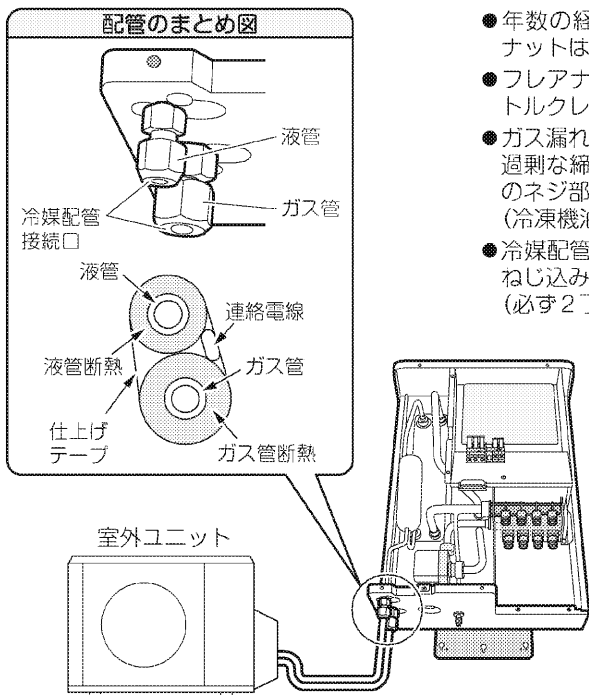
- ①固定ネジ(4カ所)を取り外す。
- ②前板を下方方向へスライドし手前に引き下げる。



前板の取付けかた
前板にある4本のツメを本体の穴(4カ所)に確実にはめ込んでください。

2 冷媒配管の接続

配管のまとめ図



- 年数の経過によるフレアナットの腐食割れを防ぐため、フレアナットは本体付属のものをご使用ください。
- フレアナットの割れ防止およびガス漏れ防止のため、締付け時はトルクレンチをご使用ください。
- ガス漏れ防止のため、フレア内面に冷凍機油を塗ってください。過剰な締付けトルクにならないよう、フレア外面やフレアナットのネジ部には冷凍機油を塗布しないでください。(冷凍機油はR410Aのものをご使用ください。)
- 冷媒配管接続部は、フレア中心を合わせ最初手回しで3~4回転ねじ込み、その後所定のトルクでしっかりと締め付けます。(必ず2丁スパナでトルクレンチを使用してください。)



フレア加工や、エアバージ、ガス漏れ確認が必要です。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照してください。

フレアナット締付けトルク	
ガス側 32.7~39.9N·m (333~407kgf·cm)	液側 14.2~17.2N·m (144~175kgf·cm)

■フロンについて



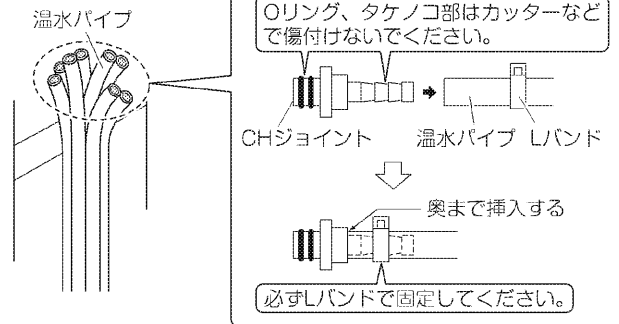
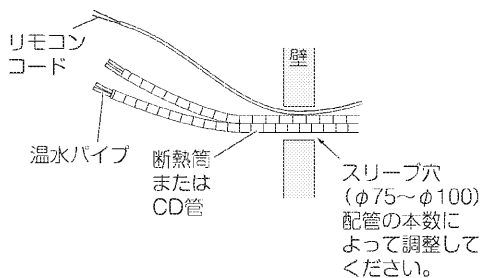
この製品には最大でCO₂(温暖化ガス)10,500kgに相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

MU

床暖房ユニットの据付け②

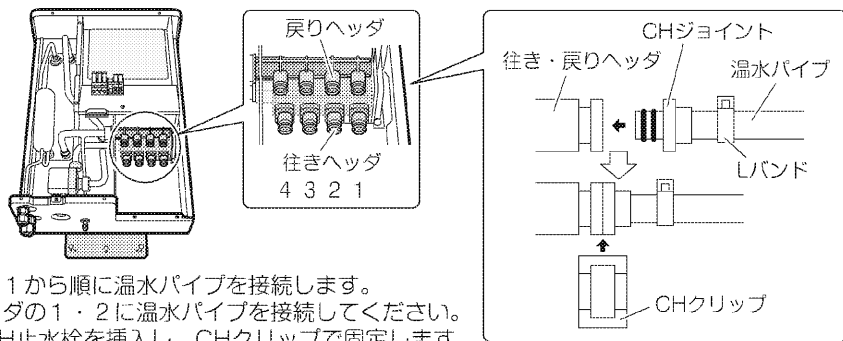
3 温水パイプの接続

- ①温水パイプ、リモコンコードを床暖房ユニットの接続部に十分届くように引き出してください。
- ②温水パイプの先端にCHジョイントを挿入し、バンドで固定します。



- 温水パイプの中にゴミやホコリが入らないように注意してください。
- CHジョイントは傷やホコリを付けないよう、ていねいに取り扱いってください。

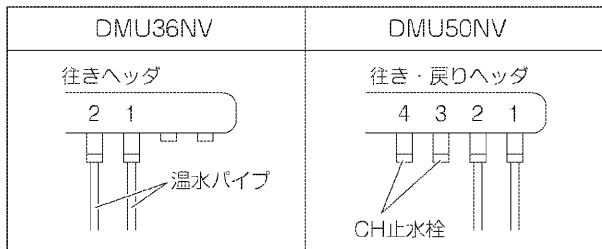
- ③温水パイプのCHジョイントを行きヘッド、戻りヘッドに挿入し、CHクリップで固定します。
 - CHジョイントが挿入しにくい場合、Oリングに少量の水道水を塗布すると挿入しやすくなります。
 - 温水は、行きヘッド→床暖房パネル→戻りヘッドの順に循環します。



- 床暖房パネルが3系統以下の場合、各ヘッドの1から順に温水パイプを接続します。例えば、床暖房パネルが2系統の場合、各ヘッドの1・2に温水パイプを接続してください。
- 温水パイプを接続しないヘッドの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定します。

CH止水栓は傷やホコリを付けないよう、ていねいに取り扱いってください。

- 行きヘッドに表示している数字が**6ゾーン設定**の熱動弁の番号に対応しています。

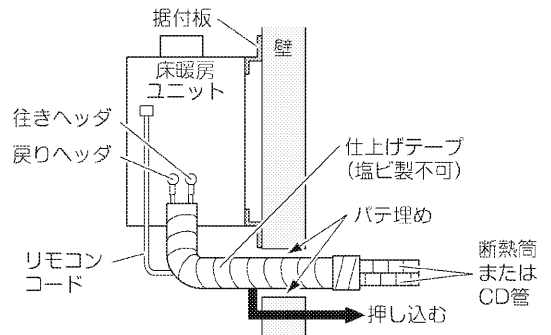


- ④温水パイプは、仕上げテープ(塩ビ製不可)などで束ねてください。
- ⑤テープで固定した部分がスリーブ穴の内側に確実に入るように押し込みます。
- ⑥雨水や小動物の侵入防止のため、スリーブ穴と仕上げた温水パイプのすき間をパテ埋めしてください。

注意

- 温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂、リモコンコードを接触させないでください。温水パイプが劣化します。
- 温水パイプには直射日光があたらないようにしてください。施工・養生時にもご注意ください。温水パイプが劣化します。

- ⑦前板(裏側)の銘板の「床暖房パネルの記録」に敷設場所、面積、設定したゾーンを記入してください。サービス時に必要となります。



床暖房ユニットの据付け③

4 配線工事

警告

- 据付工事は、必ず電源を切って行ってください。電源を入れたまま電気部品に触れると、感電の原因になります。
- 連絡電線の途中接続、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱、感電、火災の原因となります。
- リモコンコードの途中接続、タコ足配線はしないでください。
- 漏電しゃ断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。(本機はインバーター装置を有するため、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。)
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」[「内線規程」]に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると、火災、感電の原因になります。

前板を外して作業を行います。

ネジを外し、下方へスライドし取り外します。(ネジ4本)

リモコンの取付け

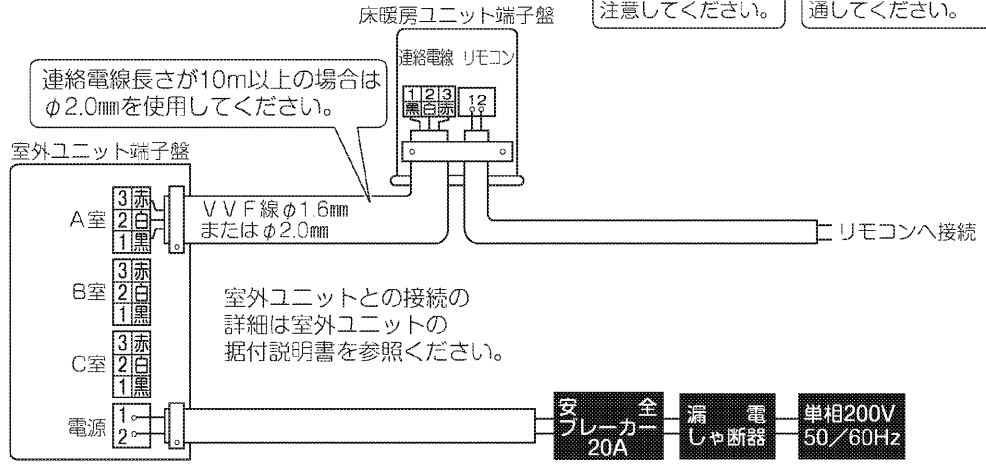
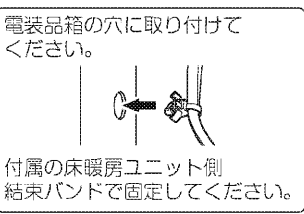
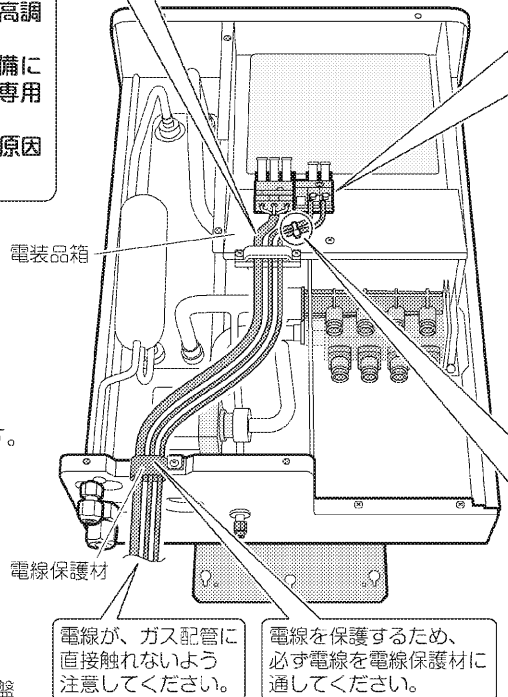
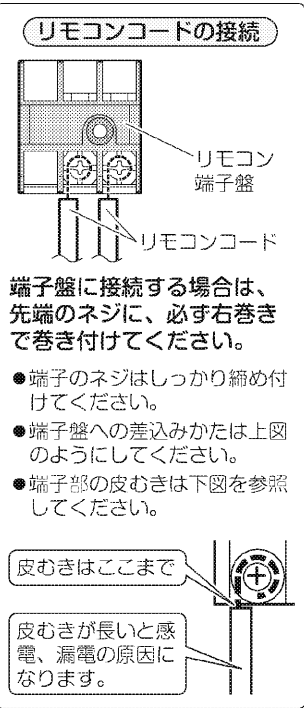
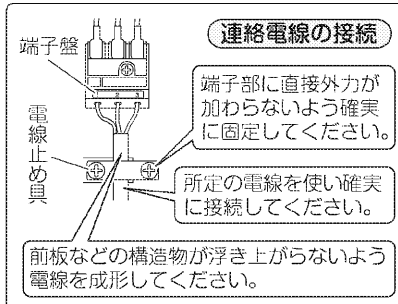
ワイヤードリモコンの据付説明書を参照してください。

リモコンコードの接続

リモコンコード(別売品)をリモコン端子盤に接続します。

連絡電線の接続

- ①電線の被覆むきを行います。(必ず15mm)
- ②電線の色を確かめ、端子盤のそれぞれの挿入口より奥にあたるまで確実に差し込みます。
- ③確実に電線が挿入されているか確認窓で確かめます。
- ④電線を引っ張り、抜けないことを確かめた後、電線止め具で電線を固定します。



アース工事

警告

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電や火災の原因になります。
- ガス管は、ガス漏れ時に爆発、引火の危険性があります。
- 水道管は、感電の危険性があります。また、硬質ビニール管を使用の場合、アースの効果がありません。

接地の基準

- 漏電しゃ断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。(本機はインバーター装置を有するため、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。)

D種接地工事について

- 電気工事士の方が行ってください。
- 接地抵抗は500Ω以下にしてください。漏電しゃ断器は定格感度電流30mA以下で動作時間が0.1秒以下の電流動作型のものを取り付けてください。

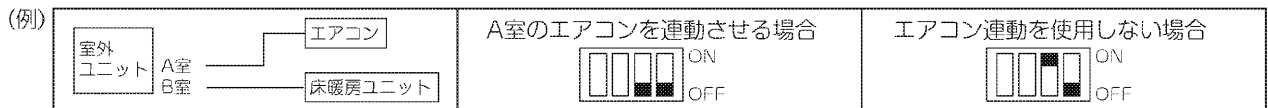
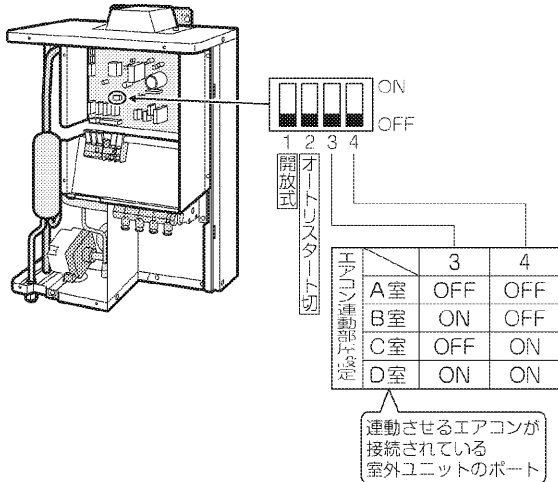
アース工事のしかた

- 室外ユニットの据付説明書を参照ください。
- 室外ユニットには、必ずアース工事を実施してください。

ディップスイッチの設定

警告

- この作業は、必ず電源を切って行ってください。
- 樹脂製の棒状のもの(キャップ付きペンなど)でディップスイッチの操作をしてください。
- ぬれた手で操作しないでください。感電の原因になります。



SS1-1...OFFを確認してください。

SS1-2...OFFを確認してください。

ONにすると、運転中に停電があった場合、復電後自動的に運転を再開します。(タイマーはキャンセルされます。)
お客様の要望があった場合のみONにしてください。

エアコン連動の設定を「入」にしている場合は、エアコンも運転を開始します。エアコンを運転させたくない場合は、床暖房のリモコンでエアコン連動の設定を「切」にしてください。

注) 試運転後は必ずリモコンで停止してから電源を切ってください。

SS1-3~4...●エアコン連動させる場合

床暖房のメインエリアの運転/停止に連動して、運転/停止するエアコンを設定します。

●エアコン連動させない場合

床暖房ユニットが接続されているポートの部屋を設定し、床暖房のリモコンでエアコン連動の設定を「切」にしてください。

●エアコンの接続がない場合

ディップスイッチの設定は行いません。

床暖房のリモコンで、エアコン連動の設定を「切」にしてください。

※エアコン連動させるエアコンは、メインエリアに設定している床暖房パネルと同じ部屋に設置してください。

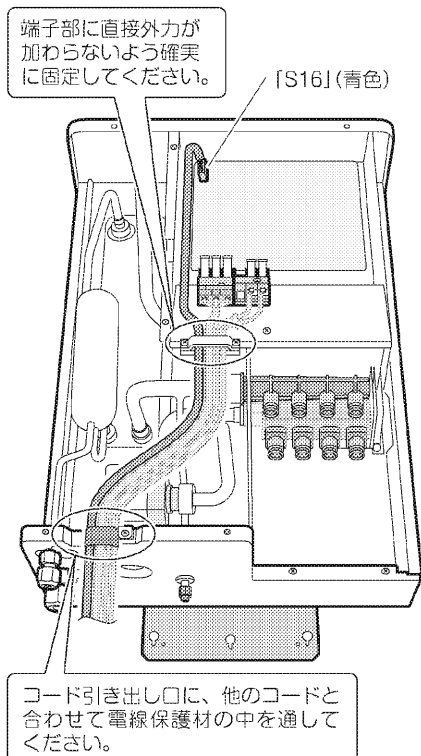
※エアコン連動部屋はお客様と相談の上、設定してください。
注) 床暖房ユニットを2台以上接続する場合は、同じ部屋を設定しないでください。

※E室の設定はできません。

HAシステムと接続する場合

床暖房ユニットの前板を外し、プリント板の「S16」(青色)にHA接続コネクタを取り付けます。

接続コードの引き回しは図を参考にしてください。



試運転前の確認

裏面の①電源投入前に、下記の内容が完了していることを確認してください。

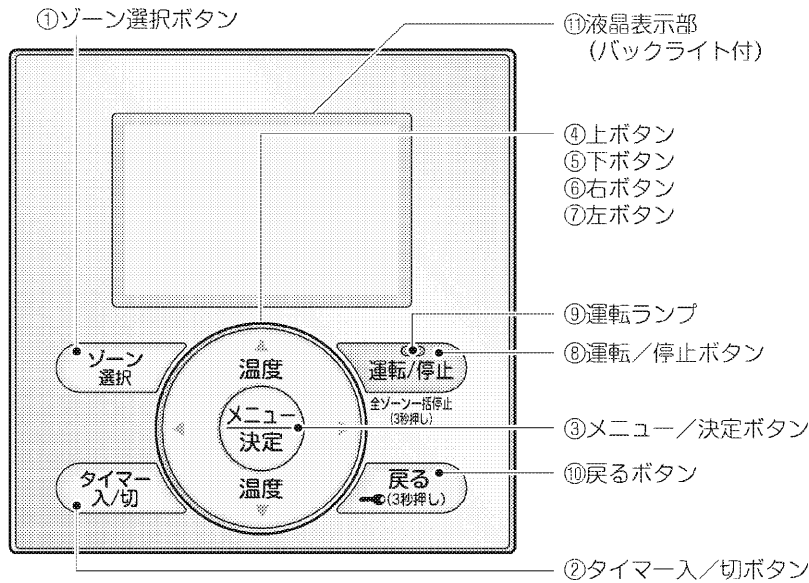
確認項目

チェック項目 欄でチェック(☑)をしてください。

チェック項目	不良の場合
<input type="checkbox"/> 安全ブレーカー1次側で電圧を測定し、200Vであることを確認してください。	運転不能
<input type="checkbox"/> 漏電しゃ断器は取り付けましたか。	漏電時危険
<input type="checkbox"/> D種接地工事は確実ですか。	漏電時危険
<input type="checkbox"/> 床暖房ユニットはしっかり据え付けられていますか。	振動・騒音・落下
<input type="checkbox"/> 電線は正しく接続されていますか。	暖まらない・焼損
<input type="checkbox"/> 電線は仕様どおりですか。	運転不能・焼損
<input type="checkbox"/> 温水パイプの断熱は十分ですか。	凍結
<input type="checkbox"/> 温水パイプの接続は確実ですか。 ●温水パイプを接続しないヘッダの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定していますか。 ●温水パイプのCHジョイントを向きヘッダ、戻りヘッダに挿入し、CHクリップで固定していますか。	水漏れ・暖まらない
<input type="checkbox"/> 1系統あたりの床暖房パネルは2~6畳は確保できていますか。	暖まらない
<input type="checkbox"/> エアコン連動の設定を確認してください。 ●設定部屋は間違っていないですか。 ●エアコン連動を使用しない場合は、自室を設定部屋にし、床暖房のリモコンでエアコン連動の設定を「切」にしましたか。	暖まらない
<input type="checkbox"/> 初期設定の記録を、取扱説明書の裏表紙と床暖房ユニットの前板(裏側)の銘板に記入しましたか。	点検時情報不足

(裏面につづく)

リモコンの各ボタンの機能とメニュー項目



注意
上下左右ボタン操作は、必ずボタンの▲印部を押してください。

①ゾーン選択ボタン
ゾーンを切り換えます。

②タイマー入/切ボタン
タイマー設定を切り換えます。

③メニュー/決定ボタン
●メニューを表示します。
(メニューの詳細内容は取扱説明書をご覧ください。)
●設定を決定します。

メニュー一覧

タイマー時刻設定
快適自動
時計合せ
サービス連絡先/機種名
給水運転
水抜き運転
温度エリア設定
ゾーン名登録
コントラスト設定
バックライト設定

④上ボタン▲
●設定温度を上げます。
●反転表示を上方向へ移動させます。
●選択項目を変更します。

⑤下ボタン▼
●設定温度を下げます。
●反転表示を下方向へ移動させます。
●選択項目を変更します。

⑥右ボタン▶
●反転表示を右方向へ移動させます。

⑦左ボタン◀
●反転表示を左方向へ移動させます。

⑧運転/停止ボタン
1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

⑨運転ランプ
運転中、緑色に点灯します。異常時には点滅します。

⑩戻るボタン
●基本画面に戻ります。
●約3秒間長押しでチャイルドロックを設定します。
●基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しで、現地設定メニューが表示されます。(床暖運転停止中のみ有効です。)

現地設定メニュー一覧

パネル種類設定
循環液設定
ゾーン設定
給水運転
試運転
温度エリア設定
ゾーン名登録
サービス連絡先登録

⑪液晶表示部(バックライト付)
操作ボタンのいずれかを押すとバックライトが約30秒間点灯します。

① 電源投入

●床暖房ユニットの配線工事が完了しているか確認してください。

1. 電源投入後、次の表示が出ます。
“接続確認中 しばらくお待ちください”

【2つのリモコンで制御する場合】

初期設定で、付属リモコンがメインリモコン、増設リモコンがサブリモコンです。メインリモコンで設定してください。

メインリモコン	サブリモコン
ARC454A1 (付属リモコン)	KRC986A1 (増設リモコン)

② 現地設定メニュー

- 基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しする。(初回電源投入時は、長押しは不要です。)
- 警告画面が表示される。「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 確認画面が表示される。「◀▶」ボタンで「はい」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 現地設定のメニュー画面が表示される。メニュー一覧の内容は、以下の通りです。

現地設定メニュー一覧

パネル種類設定	
循環液設定	
ゾーン設定	※
給水運転	
試運転	
温度エリア設定	
ゾーン名登録	
サービス連絡先登録	

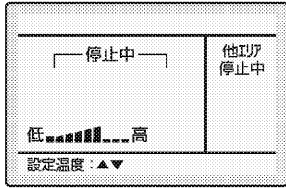
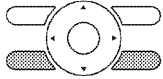
※必ず設定してください。

設定が完了すると「戻る」ボタンで基本画面に戻ることができます。

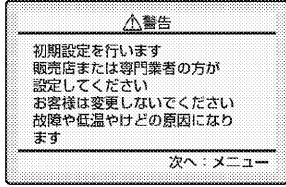
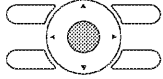
①試運転 現地設定メニューの設定を変更した場合を参照してください。

ただし、※部の設定が完了していないと基本画面に戻ることができません。

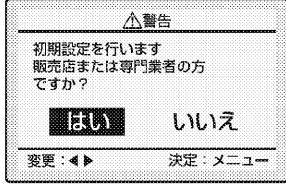
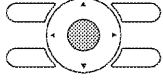
- <基本画面>

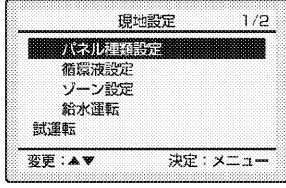
「戻る」ボタンを先に押しながら「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しする
- <現地設定警告画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
- <現地設定確認画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
- <現地設定メニュー画面>



③ パネル種類設定

- 現地設定メニュー画面で、「パネル種類設定」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- パネルタイプを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

パネル種類	パネル名	行き水温
タイプ1	エコリード	45~50℃
タイプ2	はるびより、ほっとびあA(N)12+リネア	50~55℃
タイプ3	ほっとびあA(N)12(リネア以外)、キュア真打、はるびよりツイン12	55~58℃
タイプ4	上記以外で高温出湯が必要なパネル※	58~60℃

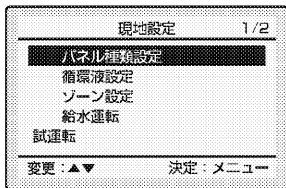
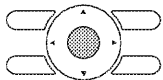
●上記以外のパネルに関しては、パネルメーカーにお問い合わせください。低温やけどのおそれのない設定にしてください。

※低温やけどの危険があるため注意してください。

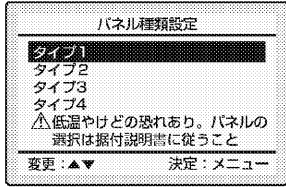
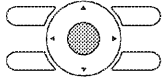
- 「はい」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

パネル種類設定画面で「戻る」ボタンを押すと現地設定メニュー画面に戻る。

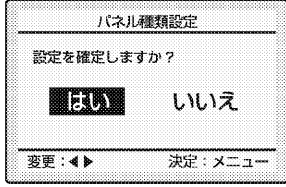
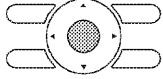
- <現地設定メニュー画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
 - <パネル種類設定画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
 - <確定確認画面>

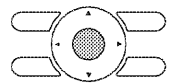
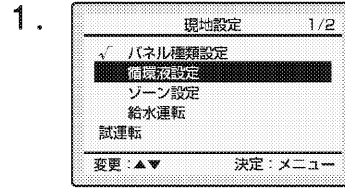



「メニュー/決定」ボタンを押す
- <現地設定メニュー画面>

4 循環液設定

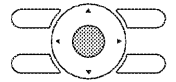
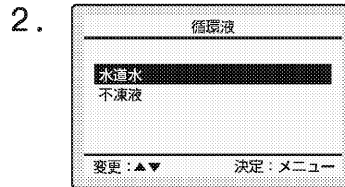
1. 現地設定メニュー画面で、**循環液設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 水道水か不凍液を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
●凍結のおそれのある場合は、不凍液を使用してください。
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



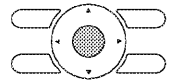
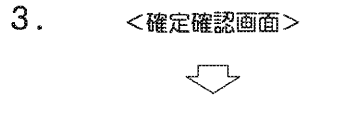
「メニュー/決定」ボタンを押す

<循環液設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<確定確認画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<現地設定メニュー画面>

5 ゾーン設定

●お客様と相談の上、設定してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2.

機種名	熱動弁の数	選択できるゾーン	ゾーン設定初期画面										
DMU36NV	2	A, B	<table border="1"> <tr> <td>熱動弁</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td rowspan="2">触らないで ください</td> </tr> <tr> <td>ゾーン</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>-</td> </tr> </table>	熱動弁	1	2	3	触らないで ください	ゾーン	A	A	-	
熱動弁	1	2	3	触らないで ください									
ゾーン	A	A	-										
DMU50NV	4	A, B, C, D	<table border="1"> <tr> <td>熱動弁</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ゾーン</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	熱動弁	1	2	3	4	ゾーン	A	A	A	A
熱動弁	1	2	3	4									
ゾーン	A	A	A	A									

「◀▶」ボタンで熱動弁1、2、(3)、(4)を選択します。
●DMU36NVの熱動弁(3)は触らないでください。
「▲▼」ボタンでそれぞれのゾーンをA、B、(C)、(D)の中から選択してください。
温水パイプを接続しない熱動弁(ヘッド)は“-”を選択してください。
ゾーンについての詳細は取扱説明書をご覧ください。

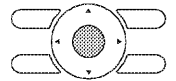
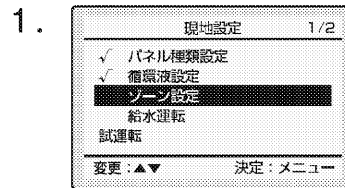
3. ゾーンを設定したら、「メニュー/決定」ボタンを押す。

※ゾーンはABCの順番で設定してください。
ABDのようにCを飛ばした場合、
ゾーン設定不良画面が表示されます。

【例】正しい設定……ABC AAB
間違った設定……ACD ACC
間違った設定の場合、「メニュー/決定」ボタンで
ゾーン設定画面に戻り、もう一度設定し直して
ください。

4. 正しい設定の場合、ゾーン設定確定確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>

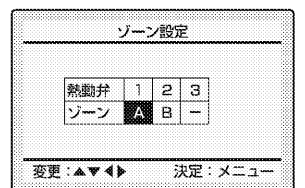


「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン設定画面>

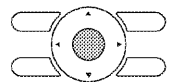
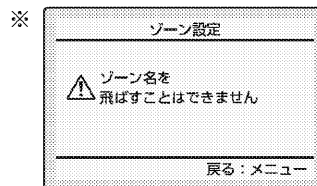


(DMU50NVの設定例)



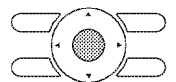
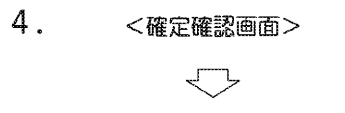
(DMU36NVの設定例)

<ゾーン設定不良画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<確定確認画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<現地設定メニュー画面>

⑥ 給水運転 ①

警告

床暖房ユニットに給水するときは、必ず前板を床暖房ユニットに取り付け、4本のネジで確実に固定すること。固定が不完全な場合、感電、火災の原因になります。

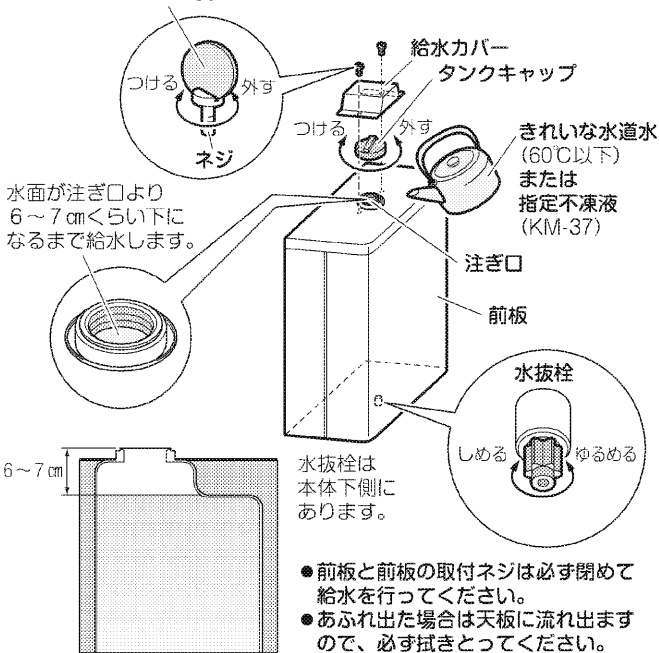
注意

- きれいな水道水(60℃以下)をご使用ください。井戸水、工業用水、添加剤、ゴミなどは入れないでください。
 - 不凍液を使用される場合は、指定の不凍液KM-37を使用してください。
- 不備があると、故障の原因になります。

1. 現地設定メニュー画面で、**給水運転** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
下記「給水のしかた」の要領で給水してください。
●給水せずにポンプを運転すると、ポンプの故障原因になります。

給水のしかた

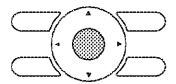
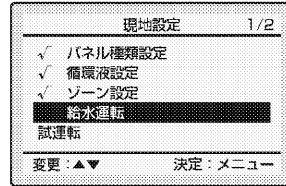
ネジを外すとき
コインなどを使うと便利です。



4. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
給水運転が開始する。
5. 給水運転は、約7分で自動的に終了する。
水位が下がるので水面が給水タンクの注ぎ口より6~7cmくらい下になるように水を補給してください。
6. 給水運転が終了すると、給水運転完了確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

<現地設定メニュー画面>

1.

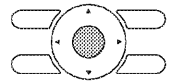
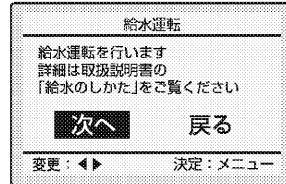


「メニュー/決定」ボタンを押す



<給水運転開始画面>

2.



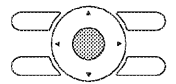
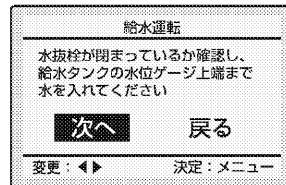
「メニュー/決定」ボタンを押す

- 取扱説明書の「長期間使わないとき」に**給水のしかた**をご覧ください。



<給水確認画面>

3.



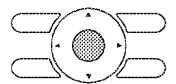
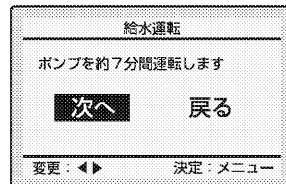
「メニュー/決定」ボタンを押す

- 本製品には水位ゲージはありませんので注ぎ口より6~7cmくらい下になるまで水を入れてください。



<給水ポンプ運転画面>

4.

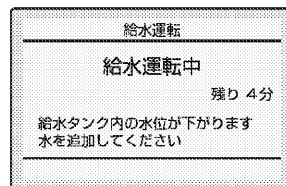


「メニュー/決定」ボタンを押す



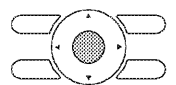
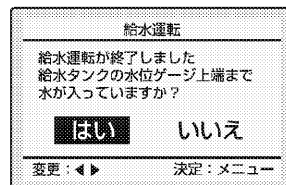
<給水運転中 タイマー表示画面>

5.



<給水運転完了確認画面>

6.



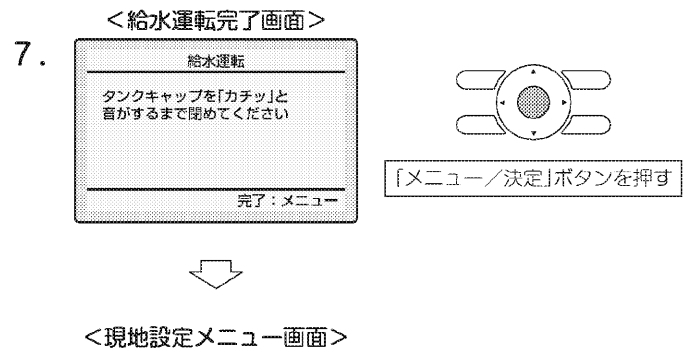
「メニュー/決定」ボタンを押す

- 本製品には水位ゲージはありませんので注ぎ口より6~7cmくらい下になるまで水を入れてください。



7 給水運転 ②

7. 給水運転完了画面が表示される。
「メニュー／決定」ボタンを押す。
給水運転を終了し、現地設定メニューに戻る。

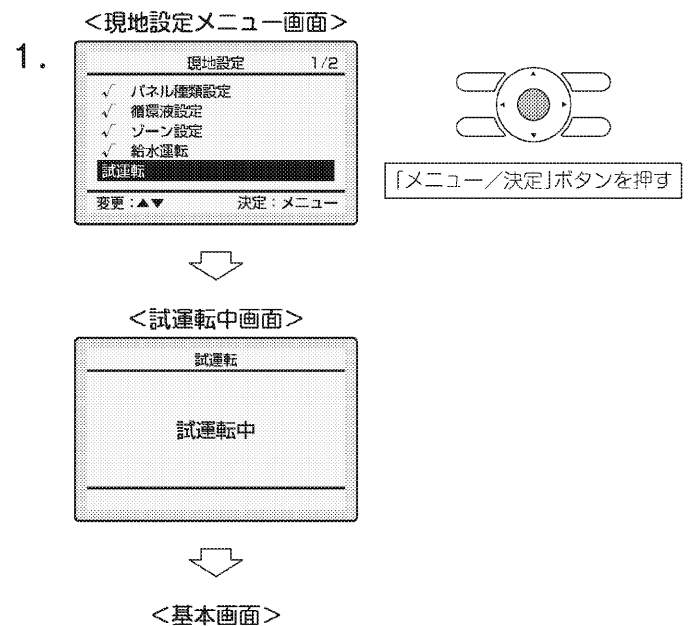
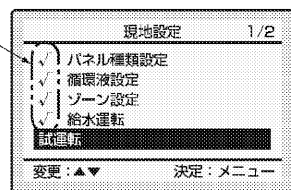


8 試運転

※室外ユニットの誤配線・誤配管チェックを実施した後に試運転を行ってください。

1. 現地設定メニュー画面で **試運転** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。

「✓」が表示されていることを確認してください。
「✓」はすでに設定していることを示します。
「パネル種類設定」、「循環液設定」、「ゾーン設定」、「給水運転」は試運転前に必ず設定してください。



※ **試運転** 前に他のエアコンを停止させてください。

2. 試運転中画面が表示される。
●約20～50分間運転後、自動的に停止し、基本画面に戻る。

試運転時の注意

- リモコンに異常コード「92」が表示された場合は、電源電圧を確認してください。
- リモコンに「給水運転を行ってください」が表示された場合は、水位、配管詰まり、誤配管、ゾーン設定間違い、パネル制約不良を確認してください。

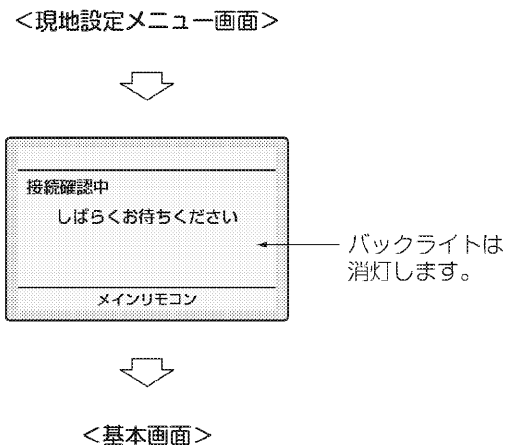
異常時	修正した後に給水運転を行い、もう一度試運転を行う。
正常時	給水運転を行った後、試運転として全ゾーン運転を行う。 (屋外温度が24℃を超えると、運転範囲を超えているので、試運転時に「給水運転を行ってください」と表示する場合があります。)

試運転後の注意

- 床暖房ユニットを運転していないときでも、水の凍結防止や水あかの付着防止のため、自動的にポンプを運転しますので、作業終了後もプレーカーを入れておいてください。水も常に入れたままにしておいてください。
- 冬期にお客様への引き渡しまでに電源プレーカーを切られる場合には、凍結による機器の故障を防ぐため必ず水抜きを行ってください。引き渡し時に給水してください。(指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。)詳細は取扱説明書をご覧ください。
- 電源プレーカーを切る場合は、必ずリモコンで停止してから電源を切ってください。

現地設定メニューの設定を変更した場合

各設定確定後、「戻る」ボタンを押すと、下画面が表示され、基本画面に戻ります。



9 温度エリア設定

※取扱説明書を確認しながら、お客様と相談の上、設定してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**温度エリア設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2. 「◀▶」ボタンでゾーンA、B、C、D、を選択し、「▲▼」ボタンでそれぞれエリアを設定する。
“I”か“II”を選択してください。

⑥ゾーン設定で設定しなかったゾーンは表示されません。

注)付属リモコンの場合

エリアIがメインエリアになります。

エリアIIが他エリアになります。

増設リモコンの場合

エリアIが他エリアになります。

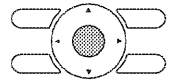
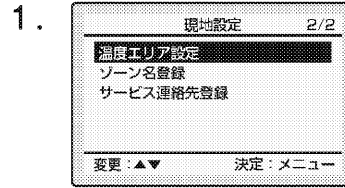
エリアIIがメインエリアになります。

※エリアについての詳細は取扱説明書をご覧ください。

すべてのゾーンにエリアを設定し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

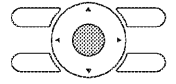
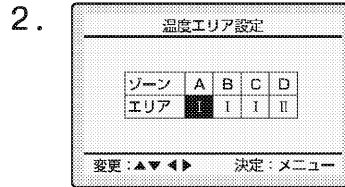
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

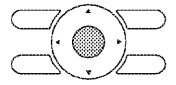
<温度エリア設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

3. <確定確認画面>

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

10 ゾーン名登録

※取扱説明書を確認しながら、お客様と相談の上、設定してください。

以下のゾーン登録名から選択してください。

リビング1	子供部屋1	洗面所
リビング2	子供部屋2	トイレ
ダイニング	寝室1	風呂
キッチン	寝室2	登録なし

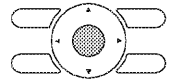
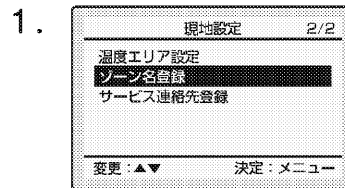
1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン名登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2. ゾーンAを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

3. ゾーン名を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
他のゾーンも2、3の手順で登録する。

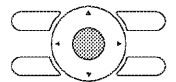
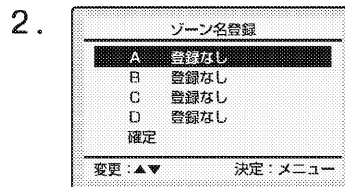
4. すべてのゾーン名の登録後、**確定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



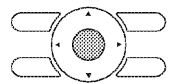
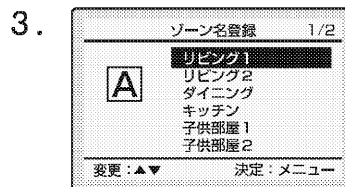
「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>



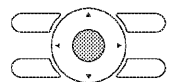
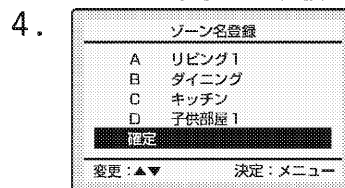
「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン名登録画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<現地設定メニュー画面>

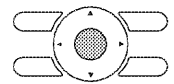
⑪ サービス連絡先登録

1. 現地設定メニュー画面で、**サービス連絡先登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **販売店** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで電話番号を入力する。
 - 左づめで入力し、余った桁は“-”のままにします。
 - ※電話番号の間違いにご注意ください。
4. 登録後、「メニュー/決定」ボタンを押す。
5. 確定確認画面が表示される。**はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>

1.

現地設定 2/2	
温度エリア設定	
ゾーン名登録	
サービス連絡先登録	
変更: ▲▼	決定: メニュー



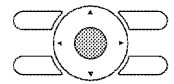
「メニュー/決定」ボタンを押す



<販売店連絡先登録設定画面>

2.

サービス連絡先登録	
なし	
販売店	
*コンタクトセンターは表示されます	
変更: ▲▼	決定: メニュー



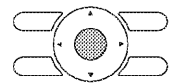
「メニュー/決定」ボタンを押す



<販売店連絡先登録画面>

3.

サービス連絡先登録	
電話番号登録(販売店)	
012-8-	-----
変更: ▲▼▶▶	決定: メニュー



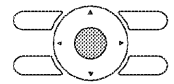
「メニュー/決定」ボタンを押す

5.

<確定確認画面>



<現地設定メニュー画面>



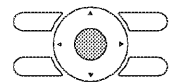
「メニュー/決定」ボタンを押す

登録内容の確認

1. 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。
 2. **サービス連絡先/機種名** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
 3. サービス連絡先表示画面が表示される。
 - 販売店の電話番号が登録されている場合は、販売店とダイキンコンタクトセンターの電話番号が表示されます。
 - 販売店の電話番号が登録されていない場合は、ダイキンコンタクトセンターの電話番号のみが表示されます。
- 「メニュー/決定」ボタンで、基本画面に戻る。

1.

<基本画面>



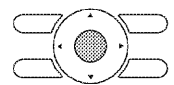
「メニュー/決定」ボタンを押す



<メニュー画面>

2.

メニュー 1/3	
タイマー時刻設定	
快適自動	
時計合せ	
サービス連絡先/機種名	
変更: ▲▼	決定: メニュー



「メニュー/決定」ボタンを押す



<サービス連絡先表示画面>
(販売店連絡先が登録されているとき)

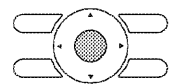
3.

サービス連絡先/機種名	
販売店連絡先	

ダイキンコンタクトセンター	
0120-88-1081	
機種名 DMU50NV	
戻る: メニュー	

<サービス連絡先表示画面>
(販売店連絡先が登録されていないとき)

サービス連絡先/機種名	
ダイキンコンタクトセンター	
0120-88-1081	
機種名 DMU50NV	
戻る: メニュー	



<基本画面へ>

「メニュー/決定」ボタンを押す

12 時計合せ

1. 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2. メニュー画面が表示される。

時計合せ を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで

【時(0~23)】【分(00~59)】を設定、

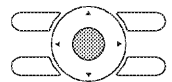
「メニュー/決定」ボタンを押す。

4. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

設定した内容が確定され、基本画面に戻る。

- 2台のリモコンを使用している場合は、片方を時刻設定するともう一方も同じ時刻に設定されます。(最大1分のずれがあります。)
- 床暖房ユニットが複数台接続されている場合は、各床暖房ユニット毎のリモコンで時刻合せが必要となります。

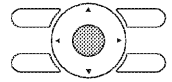
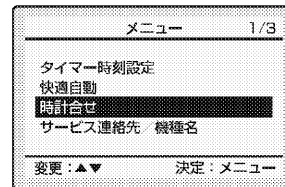
1. <基本画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<メニュー画面>

2.

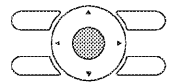


「メニュー/決定」ボタンを押す



<時刻設定画面>

3.

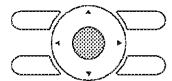


「メニュー/決定」ボタンを押す



4.

<確定確認画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<基本画面へ>

お願い

- 保証書に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の裏表紙の**初期設定の記録**に初期設定情報を記入し、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特に運転操作のしかた、および温度調節のしかた)をご説明ください。

ダイキン ヒートポンプ式マルチ床暖房 据付説明書 開放型

二次元バーコードは製造用コードです。

安全上のご注意

- 据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

<p>警告 誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。</p>	<p>注意 誤った据付けにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。</p>
---	---

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

<p> 指示を守る</p>	<p> アース線接続</p>	<p> 禁止</p>
----------------------	-----------------------	-------------------

- 据付工事完了後および各種設定確認後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

警告	
<ul style="list-style-type: none"> ●据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で据付けされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。 ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。 ●設置工事部品は、必ず付属品および指定の部品を使用する。 指定部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災の原因になります。 ●据付けは、質量に十分耐える所に確実に行う。 強度不足や取付けが不完全な場合、ユニットの落下により、けがの原因になります。 ●据付工事は、必ず電源を切って行う。 電源を入れたまま電気部品に触れると感電の原因になります。 ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると、火災や感電の原因になります。 ●アース工事は、必ずD種接地工事を行う。 アース線は、ガス管や水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合、感電や火災の原因になります。 ●漏電しゃ断器を必ず取り付けます。 漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因になります。 ●配線を途中で接続しない、電源コードを束ねない、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。 施工不備があると、発熱や感電、火災の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、所定の電線を使い確実に接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する。 接続や固定が不完全な場合、発熱や感電、火災の原因になります。 ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、閉鎖弁カバーなどの構造物が浮き上がらないよう電線を成形し、カバーを確実に取り付ける。 カバーの取付けが不完全な場合、端子部の発熱や感電、火災の原因になります。 ●床暖房ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させない。 空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。 ●指定冷媒(R410A)以外は使用しない。 機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。 ●据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける。 冷媒配管が取り付けられておらず、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。 ●ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したまま、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。 ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気する。 冷媒ガスが漏れると、有毒ガスが発生する原因になります。 ●設置工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーターやコンロ、ストーブなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。 ●配管・フレアナット・工具は指定冷媒(R410A)専用のものを使用する。 既存冷媒(R22)の部品を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。

注意	
<ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない。 万一ガスが漏れて、ユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。 ●フレアナットはトルクレンチなどで指定の方法で締め付ける。 フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房ユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置しない。 小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になります。 また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしていただきます。

据付場所の選定

- 下記断熱が施された住宅であることを確認してください。

適用地域	年最低気温がおおむね -5℃以上の地域	年最低気温がおおむね -20℃以上の地域
住宅の断熱仕様 (住宅金融公庫 省エネルギー住宅)	一般型であることが 必須条件 (次世代型を推奨)	次世代型であることが 必須条件

- 数詰め率が不足する場合は、補助暖房を設置してください。
- 年最低気温が-10℃を下回る地域や、昼間も0℃以下の気温が数日続く地域、凍結が頻繁に起こるような地域は指定不凍液を使用してください。
- 温水パイプ部分で凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱を増すか、凍結のおそれのない場所に設置してください。
- 据付場所は、お客様の同意を得て決定してください。

ワイヤードリモコン

- ワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。

室外ユニット

- 室外ユニットの据付説明書をご覧ください。

床暖房ユニット

- 製品の重量に耐え、水平に据付けできる所。
- (床暖房ユニットの据付け) 据付パターンで示す据付スペースが守れる所。
- 水が流出しても支障のない所。
(防水・排水ができる所)
- 雨、強風、直射日光があたりにくい所。
- 消防法および都道府県の条例などを満足する所。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
- 海岸地域など塩分が多い所、硫化ガス成分が多い所、機械油など油の蒸気が発生する所では、床暖房ユニットの寿命が短くなる場合があります。
- 運転音が隣家の迷惑にならない所。
(特に隣家との境界線では、環境基本法第16条に基づく騒音に係る環境基準および都道府県の条例などを満足すること。)
- 屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した所。(物置、納戸、機械室等)
- テレビ、無線機などのアンテナより3m以上間隔を取れる所。

床暖房パネル

- 指定されたお部屋に敷設してください。

据付工事のポイント

床暖房ユニット

工事のポイント	記載箇所
●本機は、 200V専用室外電源機 です。 電源電圧に注意し、電源仕様を確認の上、配線工事を行ってください。	床暖房ユニットの据付け④ 4 配線工事
●必ず漏電しゃ断器の取り付け、D種接地工事を行ってください。	
●床暖房パネルの温水パイプは、地域に合った断熱を施してください。	床暖房ユニット据付図
●床暖房パネルの温水パイプは、系統1から順に接続します。	床暖房ユニットの据付け② 3 温水パイプの接続
●電源ブレーカーを入れた後に、メインリモコンで初期設定を行ってください。	①電源投入
●冬期にお客様への引き渡しまでに、電源ブレーカーを切られる場合には、必ず水抜きを行ってください。また、引き渡し時には給水してください。 (指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。)	取扱説明書「長期間使わないとき」参照
●電源投入後は、下記の手順に従って試運転を行ってください。 ①床暖房ユニットの給水運転 ②室外ユニットの誤配管・誤配線チェック ③床暖房ユニットの試運転 ④室内ユニットの試運転 ⑤通常運転	⑥給水運転 ⑧試運転 室外ユニットの据付説明書を参照
●屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した設置場所を選んでください。 (物置、納戸、機械室等)	床暖房ユニットの据付け①

床暖房用部材

- 床暖房用部材の施工方法は、各種床暖房パネルに付属の工事説明書をご参照ください。

床暖房用部材工事のポイント

- 床暖房パネルと床材が、カタログなどに記載の推奨品であることを確認してください。
推奨品以外の場合は暖まりが悪くなったり、床材にすき間やひび割れが生じることがあります。
- 床暖房の能力を十分に発揮させるためには、床暖房パネルの面積は床面積の70%が標準で、最低60%以上は必要です。
- 木質フローリングの方向によって、床暖房パネルを敷く方向が決まります。木質フローリングの方向と床暖房パネルの小根太の方向とが直交するように、床暖房パネルを敷いてください。
- 床暖房パネルの小根太部以外には、絶対に木ネジや釘などを打たないでください。パイプを損傷し、水漏れの原因となります。
- 施工時および養生時に床暖房パネル表面や温水パイプを傷付けしないでください。
- 温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂(リモコンコード、電源コードなど)を接触させないでください。パイプが劣化します。
- 温水パイプは直射日光があたらないように施工・養生してください。パイプが劣化します。
- 室外ユニットの据付け前に、床暖房パネルの漏れないことを確認してください。気密テストはゲージ圧力196kPa(2kgf/cm²)で1時間以上行ってください。(できるだけ製品の据付け時まで、放置してください。)気密テストに水を使用する場合は、凍結に注意してください。

別 売 品

リモコンコード

品 名	品 番	
リモコンコード (2芯)	5m	KRCW301A05
	8m	KRCW301A08
	12m	KRCW301A12
	20m	KRCW301A20
	50m	K-RW2050A
	100m	K-RW2100A

5~20mはY端子付きです。リモコン側はY端子をカットして使用願います。

- 必要な距離に応じて、該当するリモコンコードを用意してください。
- 合計線長は50m以下にしてください。

床暖房用手配部材

- 別途下記の床暖房用部材が必要です。
 - ・床暖房パネル
 - ・温水パイプ
 - ・温水床暖房用ポリエチレン製CD管
(条件により断熱が必要です。)
 - ・CHジョイント
 - ・CHクリップ
 - ・CH止水栓
 - ・Lバンド
- 床暖房パネルによって異なります。
詳しくは、カタログなどをご覧ください。

指定不凍液

- 地域により必要です。
品番：KM-37
(同等品、ショーワ(株)製 M-37)

増設リモコン




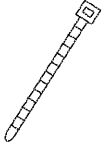


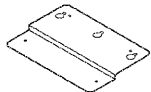
- 2台のリモコンで操作する場合に必要です。
品番：KRC986A1

置 台

- 床置き設置する場合に必要です。
品番：KKS023A4

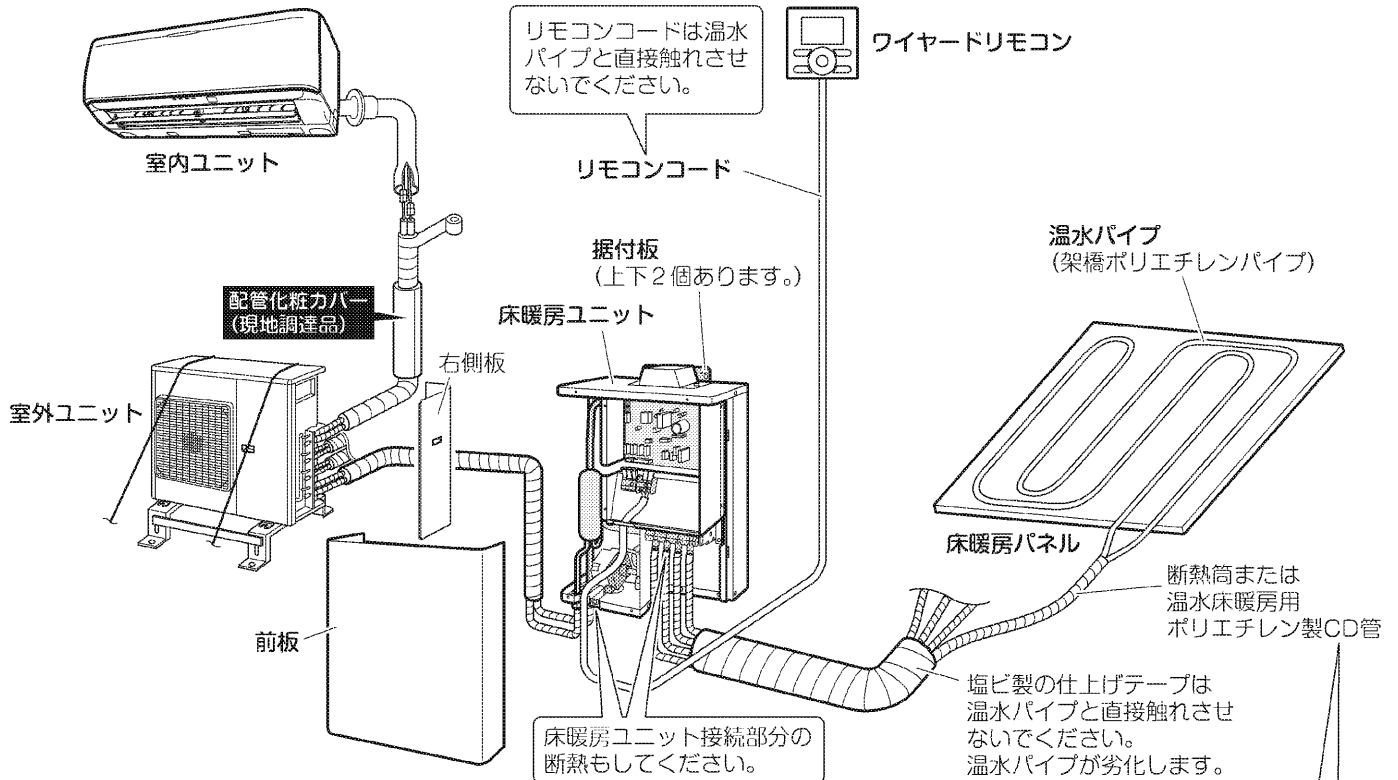
付 属 部 品

※リモコンコードは別売品です。

リモコンセット						据付板	取扱説明書 (1部) 据付説明書 (2部) 保 証 書 (1部)
ワイヤード リモコン	木ネジ	小ネジ	結束バンド	配線押さえ	床暖房ユニット側 結束バンド		
							
(1個)	(2本)	(2本)	(1本)	(1個)	(1本)	(2個)	

床暖房ユニット据付図

室内ユニット、室外ユニットの据付けについてはそれぞれに付属の据付説明書を参照してください。



断熱筒は、架橋ポリエチレンパイプ用または発泡ポリエチレンフォーム製冷媒配管用(肉厚10mm以上、耐熱80℃以上)を使用してください。
 下記の場合は、温水床暖房用ポリエチレン製CD管を使用することも可能です。
 ●最低気温がおおむね-5℃以上の地域
 ●温水パイプ部で凍結のおそれがない場合
 ●床暖房ユニットから床暖房パネル入口までの温水パイプ長が10m以下の場合
 注)床暖房ユニットから床暖房パネル入口までの温水パイプで凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱筒を厚くするか、凍結のおそれのない場所に据え付けてください。

●床暖房ユニットを屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した設置場所を選んでください。(物置、納戸、機械室等)

■冷媒配管の許容長さ・床暖房ユニット設置時の各ユニット間高低差
 室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。

施工制約

床暖房パネルの施工制約

- 床暖房パネルは、DMU36NVでは最大2系統、DMU50NVでは最大4系統まで接続できます。

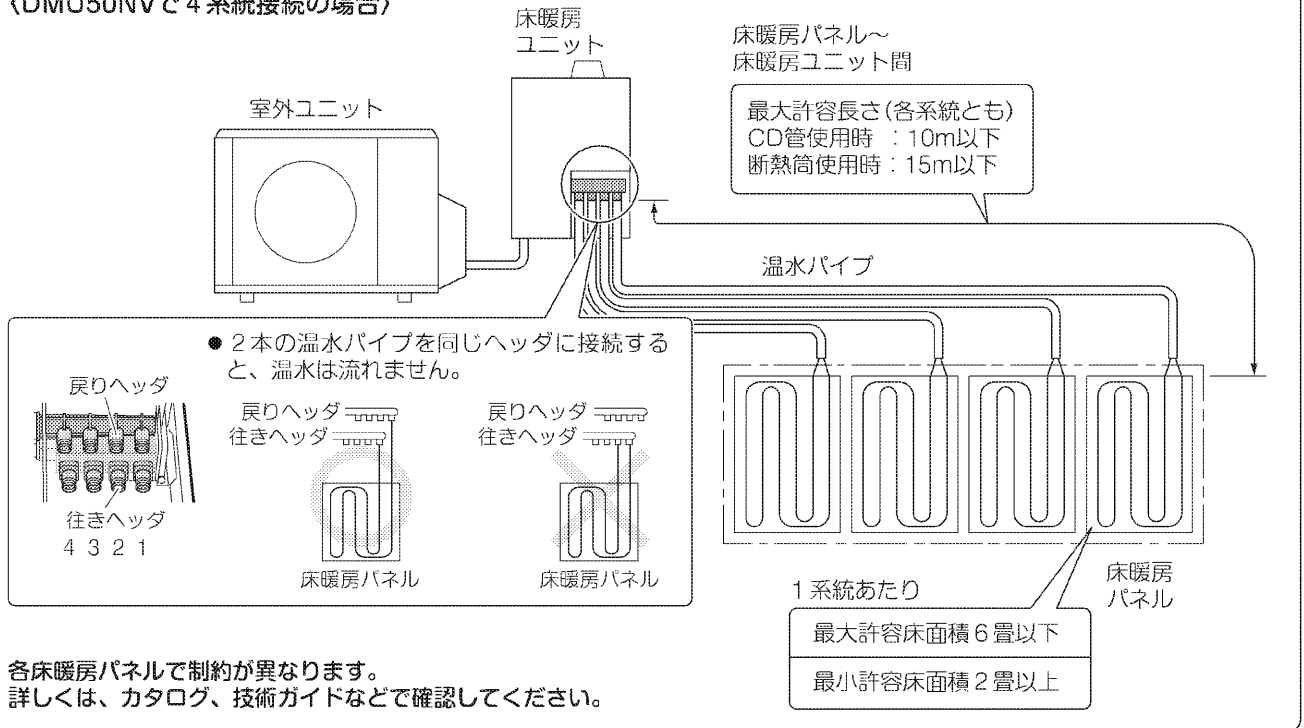
機種毎の最大接続系統数

DMU36NV	DMU50NV
2	4

- 床暖房パネルを敷詰める面積は、床面積の70%が標準です。
最低60%以上は敷き詰めてください。

〈標準設置例〉

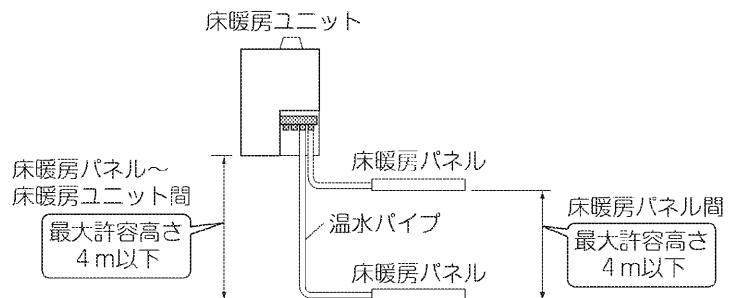
〈DMU50NVで4系統接続の場合〉



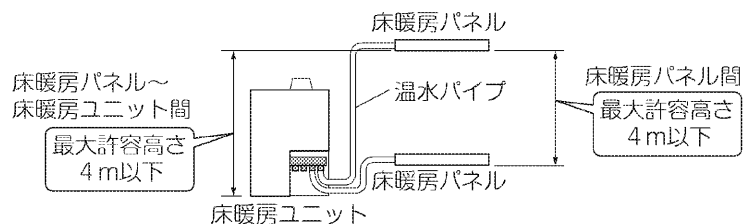
床暖房パネルの最大許容高低差

- 床暖房ユニット、床暖房パネルの最大許容高低差は以下の通りです。

床暖房ユニットが床暖房パネルよりも上設置の場合



床暖房ユニットが床暖房パネルよりも下設置の場合

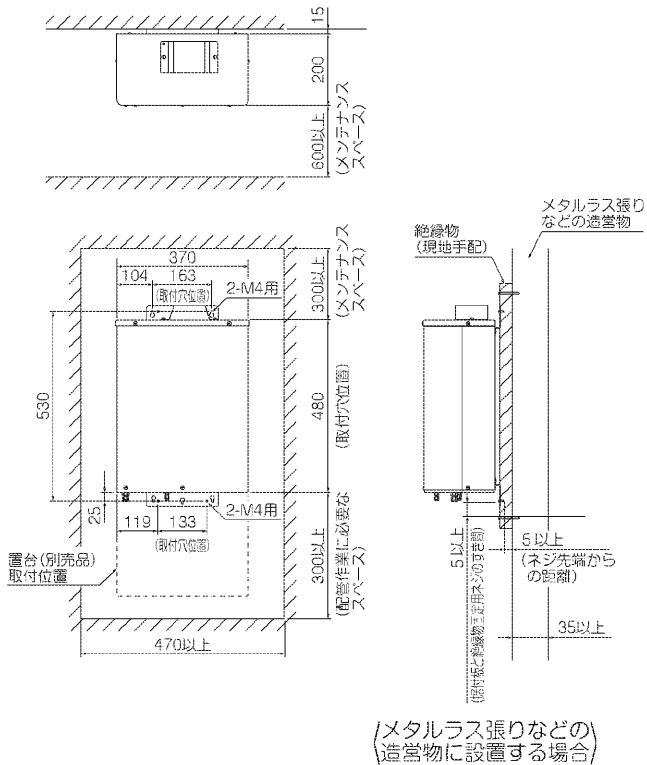


床暖房ユニットの据付け①

1 壁掛け設置

【寸法図】

(単位: mm)

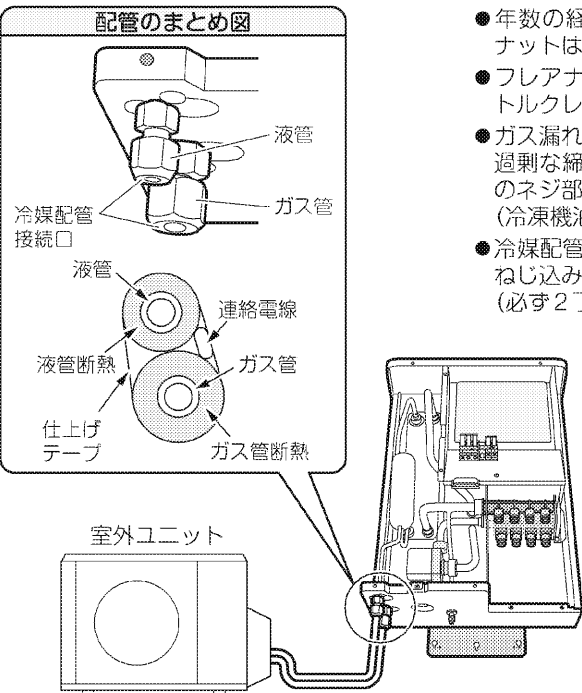


注意

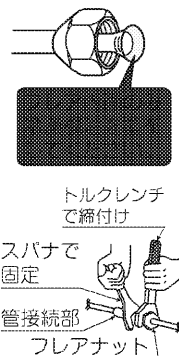
- 必ず垂直な壁に据え付けてください。
- 床暖房ユニットを屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した設置場所を選んでください。(物置、納戸、機械室等)

2 冷媒配管の接続

配管のまとめ図



- 年数の経過によるフレアナットの腐食割れを防ぐため、フレアナットは本体付属のものをご使用ください。
- フレアナットの割れ防止およびガス漏れ防止のため、締付け時はトルクレンチをご使用ください。
- ガス漏れ防止のため、フレア内面に冷凍機油を塗ってください。過剰な締付けトルクにならないよう、フレア外面やフレアナットのネジ部には冷凍機油を塗布しないでください。(冷凍機油はR410Aのものをご使用ください。)
- 冷媒配管接続部は、フレア中心を合わせ最初手回しで3~4回転ねじ込み、その後所定のトルクでしっかりと締め付けます。(必ず2丁スパナでトルクレンチを使用してください。)



フレア加工や、エアバージ、ガス漏れ確認が必要です。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照してください。

フレアナット締付けトルク	
ガス側 32.7~39.9N・m (333~407kgf・cm)	液側 14.2~17.2N・m (144~175kgf・cm)

フロンについて

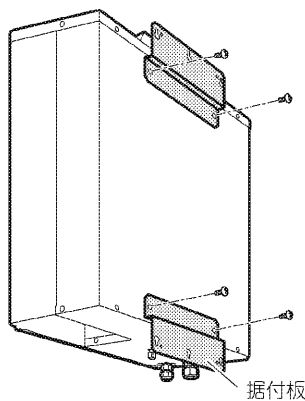


この製品には最大でCO₂(温暖化ガス)10,500kgに相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

MU

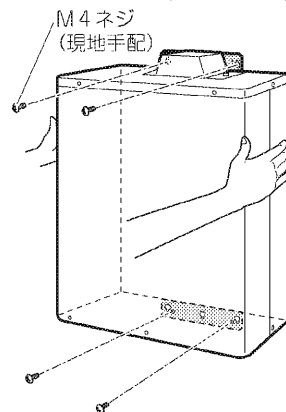
① 据付板を取り付ける(2個)

- 床暖房ユニットの背面に、取り付けてあるネジを外し付属の据付板を取り付ける。(ネジ4カ所)



② 壁面に床暖房ユニットを取り付ける

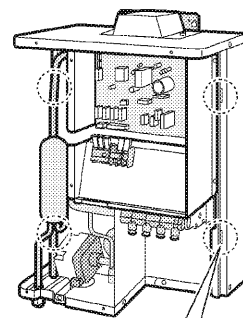
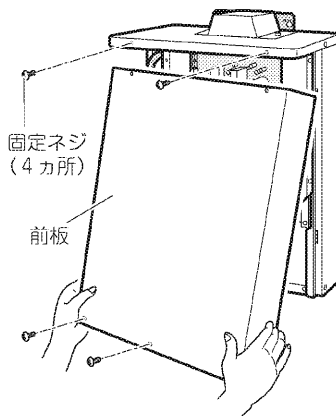
- 壁に取り付ける。(ネジ4カ所)



※壁面がメタルラス張りなどの造営物の場合、床暖房ユニットと壁面の間に、絶縁物を入れてください。

③ 前板を取り外す

- ①固定ネジ(4カ所)を取り外す。
- ②前板を下方向へスライドし手前に引き下げる。

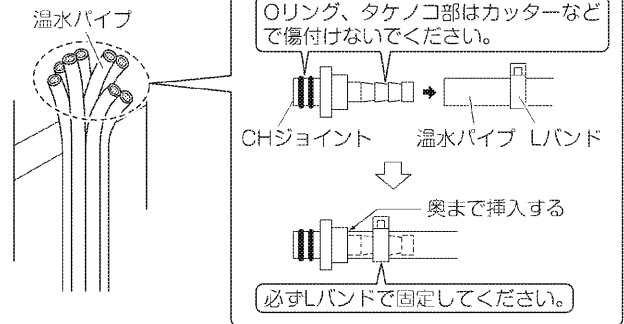
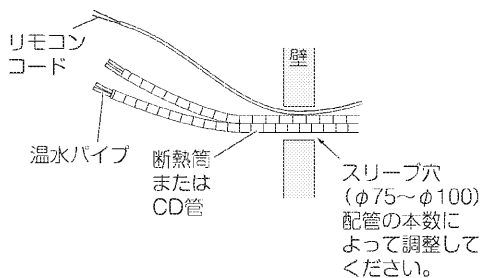


前板の取付けかた
前板にある4本のツメを本体の穴(4カ所)に確実にはめ込んでください。

床暖房ユニットの据付け②

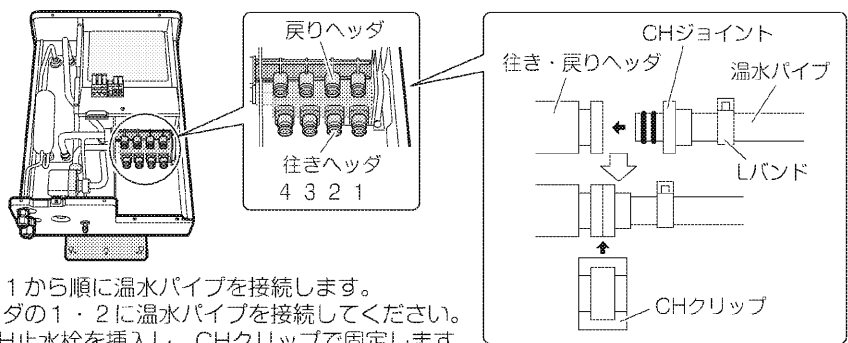
3 温水パイプの接続

- ① 温水パイプ、リモコンコードを床暖房ユニットの接続部に十分届くように引き出してください。
- ② 温水パイプの先端にCHジョイントを挿入し、バンドで固定します。



- 温水パイプの中にゴミやホコリが入らないように注意してください。
- CHジョイントは傷やホコリを付けないよう、ていねいに取り扱いってください。

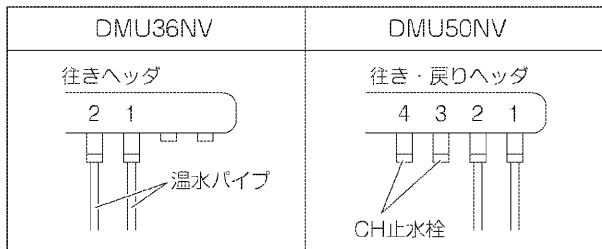
- ③ 温水パイプのCHジョイントを行きヘッド、戻りヘッドに挿入し、CHクリップで固定します。
 - CHジョイントが挿入しにくい場合、Oリングに少量の水道水を塗布すると挿入しやすくなります。
 - 温水は、行きヘッド→床暖房パネル→戻りヘッドの順に循環します。



- 床暖房パネルが3系統以下の場合、各ヘッドの1から順に温水パイプを接続します。例えば、床暖房パネルが2系統の場合は、各ヘッドの1・2に温水パイプを接続してください。
- 温水パイプを接続しないヘッドの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定します。

CH止水栓は傷やホコリを付けないよう、ていねいに取り扱いってください。

- 行きヘッドに表示している数字が**6ゾーン設定**の熱動弁の番号に対応しています。

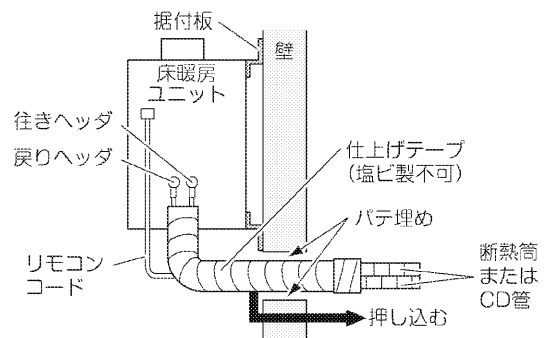


- ④ 温水パイプは、仕上げテープ(塩ビ製不可)などで束ねてください。
- ⑤ テープで固定した部分がスリーブ穴の内側に確実に入るように押し込みます。
- ⑥ 雨水や小動物の侵入防止のため、スリーブ穴と仕上げた温水パイプのすき間をパテ埋めしてください。

注意

- 温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂、リモコンコードを接触させないでください。温水パイプが劣化します。
- 温水パイプには直射日光があたらないようにしてください。施工・養生時にもご注意ください。温水パイプが劣化します。

- ⑦ 前板(裏側)の銘板の「床暖房パネルの記録」に敷設場所、面積、設定したゾーンを記入してください。サービス時に必要となります。



床暖房ユニットの据付け③

4 配線工事

警告

- 据付工事は、必ず電源を切って行ってください。電源を入れたまま電気部品に触れると、感電の原因になります。
- 連絡電線の途中接続、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱、感電、火災の原因となります。
- リモコンコードの途中接続、タコ足配線はしないでください。
- 漏電しゃ断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。(本機はインバーター装置を有するため、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。)
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」[内線規程]に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると、火災、感電の原因になります。

前板を外して作業を行います。

ネジを外し、下方へスライドし取り外します。(ネジ4本)

リモコンの取付け

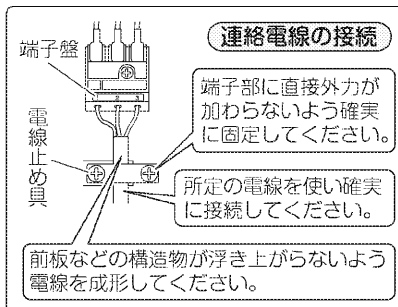
ワイヤードリモコンの据付説明書を参照してください。

リモコンコードの接続

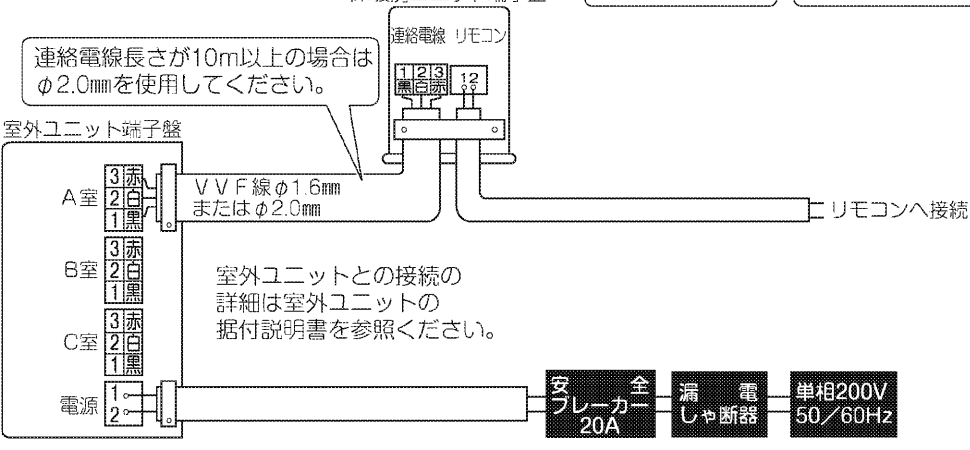
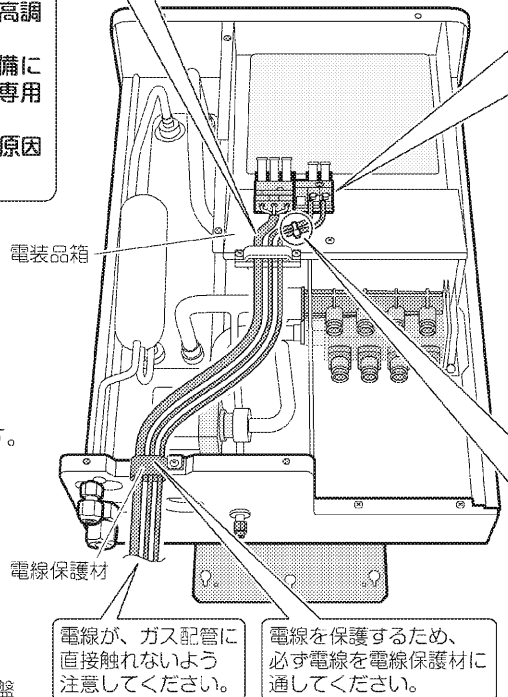
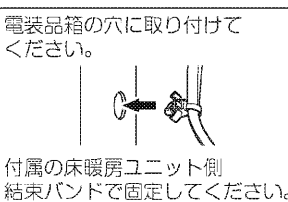
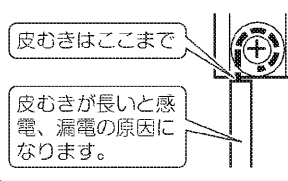
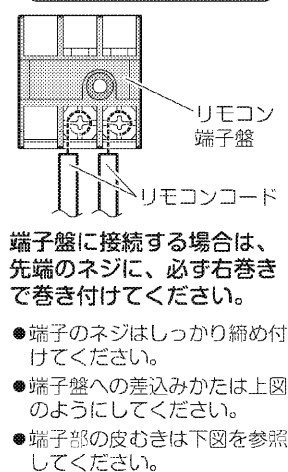
リモコンコード(別売品)をリモコン端子盤に接続します。

連絡電線の接続

- ①電線の被覆むきを行います。(必ず15mm)
- ②電線の色を確かめ、端子盤のそれぞれの挿入口より奥にあたるまで確実に差し込みます。
- ③確実に電線が挿入されているか確認窓で確かめます。
- ④電線を引っ張り、抜けないことを確かめた後、電線止め具で電線を固定します。



リモコンコードの接続



アース工事

警告

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電や火災の原因になります。
- ガス管は、ガス漏れ時に爆発、引火の危険性があります。
- 水道管は、感電の危険性があります。また、硬質ビニール管を使用の場合、アースの効果がありません。

接地の基準

- 漏電しゃ断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。(本機はインバーター装置を有するため、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。)

D種接地工事について

- 電気工事士の方が行ってください。
- 接地抵抗は500Ω以下にしてください。漏電しゃ断器は定格感度電流30mA以下で動作時間が0.1秒以下の電流動作型のもを取り付けてください。

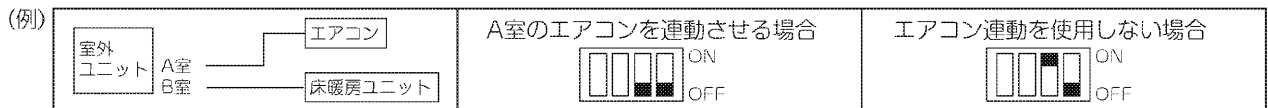
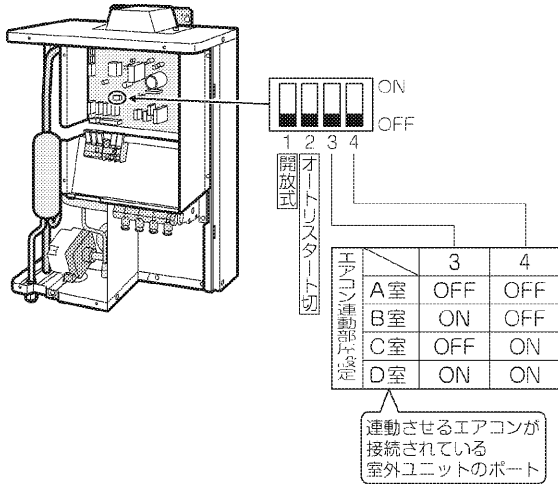
アース工事のしかた

- 室外ユニットの据付説明書を参照ください。
- 室外ユニットには、必ずアース工事を実施してください。

ディップスイッチの設定

警告

- この作業は、必ず電源を切って行ってください。
- 樹脂製の棒状のもの(キャップ付きペンなど)でディップスイッチの操作をしてください。
- ぬれた手で操作しないでください。感電の原因になります。



SS1-1...OFFを確認してください。

SS1-2...OFFを確認してください。

ONにすると、運転中に停電があった場合、復電後自動的に運転を再開します。(タイマーはキャンセルされます。) お客様の要望があった場合のみONにしてください。

エアコン連動の設定を「入」にしている場合は、エアコンも運転を開始します。エアコンを連動させたくない場合は、床暖房のリモコンでエアコン連動の設定を「切」にしてください。

注) 試運転後は必ずリモコンで停止してから電源を切ってください。

SS1-3~4...●エアコン連動させる場合

床暖房のメインエリアの運転/停止に連動して、運転/停止するエアコンを設定します。

●エアコン連動させない場合

床暖房ユニットが接続されているポートの部屋を設定し、床暖房のリモコンでエアコン連動の設定を「切」にしてください。

●エアコンの接続がない場合

ディップスイッチの設定は行いません。

床暖房のリモコンで、エアコン連動の設定を「切」にしてください。

※エアコン連動させるエアコンは、メインエリアに設定している床暖房パネルと同じ部屋に設置してください。

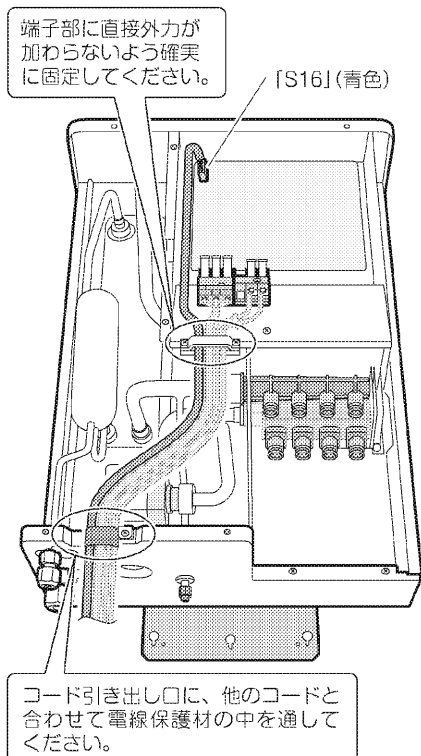
※エアコン連動部屋はお客様と相談の上、設定してください。
注) 床暖房ユニットを2台以上接続する場合は、同じ部屋を設定しないでください。

※E室の設定はできません。

HAシステムと接続する場合

床暖房ユニットの前板を外し、プリント板の「S16」(青色)にHA接続コネクタを取り付けます。

接続コードの引き回しは図を参考にしてください。



試運転前の確認

裏面の①電源投入前に、下記の内容が完了していることを確認してください。

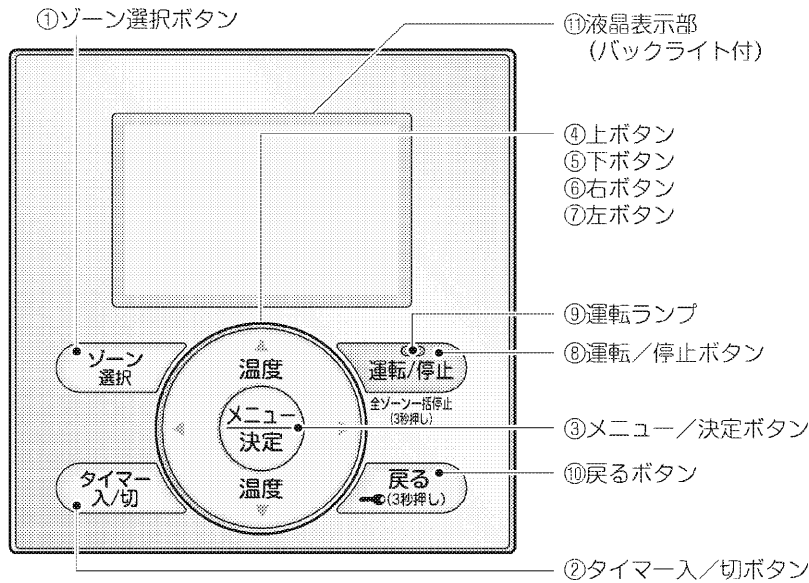
確認項目

チェック項目 欄でチェック(☑)をしてください。

チェック項目	不良の場合
<input type="checkbox"/> 安全ブレーカー1次側で電圧を測定し、200Vであることを確認してください。	運転不能
<input type="checkbox"/> 漏電しゃ断器は取り付けましたか。	漏電時危険
<input type="checkbox"/> D種接地工事は確実ですか。	漏電時危険
<input type="checkbox"/> 床暖房ユニットはしっかり据え付けられていますか。	振動・騒音・落下
<input type="checkbox"/> 電線は正しく接続されていますか。	暖まらない・焼損
<input type="checkbox"/> 電線は仕様どおりですか。	運転不能・焼損
<input type="checkbox"/> 温水パイプの断熱は十分ですか。	凍結
<input type="checkbox"/> 温水パイプの接続は確実ですか。 ●温水パイプを接続しないヘッダの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定していますか。 ●温水パイプのCHジョイントを向きヘッダ、戻りヘッダに挿入し、CHクリップで固定していますか。	水漏れ・暖まらない
<input type="checkbox"/> 1系統あたりの床暖房パネルは2~6畳は確保できていますか。	暖まらない
<input type="checkbox"/> エアコン連動の設定を確認してください。 ●設定部屋は間違っていないですか。 ●エアコン連動を使用しない場合は、自室を設定部屋にし、床暖房のリモコンでエアコン連動の設定を「切」にしましたか。	暖まらない
<input type="checkbox"/> 初期設定の記録を、取扱説明書の裏表紙と床暖房ユニットの前板(裏側)の銘板に記入しましたか。	点検時情報不足

(裏面につづく)

リモコンの各ボタンの機能とメニュー項目



注意
上下左右ボタン操作は、必ずボタンの▲印部を押してください。

①ゾーン選択ボタン
ゾーンを切り換えます。

②タイマー入/切ボタン
タイマー設定を切り換えます。

③メニュー/決定ボタン
●メニューを表示します。
(メニューの詳細内容は取扱説明書をご覧ください。)
●設定を決定します。

メニュー一覧

タイマー時刻設定
快適自動
時計合せ
サービス連絡先/機種名
給水運転
水抜き運転
温度エリア設定
ゾーン名登録
コントラスト設定
バックライト設定

④上ボタン▲
●設定温度を上げます。
●反転表示を上方向へ移動させます。
●選択項目を変更します。

⑤下ボタン▼
●設定温度を下げます。
●反転表示を下方向へ移動させます。
●選択項目を変更します。

⑥右ボタン▶
●反転表示を右方向へ移動させます。

⑦左ボタン◀
●反転表示を左方向へ移動させます。

⑧運転/停止ボタン
1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

⑨運転ランプ
運転中、緑色に点灯します。異常時には点滅します。

⑩戻るボタン
●基本画面に戻ります。
●約3秒間長押しでチャイルドロックを設定します。
●基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しで、現地設定メニューが表示されます。(床暖運転停止中のみ有効です。)

現地設定メニュー一覧

パネル種類設定
循環液設定
ゾーン設定
給水運転
試運転
温度エリア設定
ゾーン名登録
サービス連絡先登録

⑪液晶表示部(バックライト付)
操作ボタンのいずれかを押すとバックライトが約30秒間点灯します。

① 電源投入

●床暖房ユニットの配線工事が完了しているか確認してください。

1. 電源投入後、次の表示が出ます。
“接続確認中 しばらくお待ちください”

【2つのリモコンで制御する場合】

初期設定で、付属リモコンがメインリモコン、増設リモコンがサブリモコンです。メインリモコンで設定してください。

メインリモコン	サブリモコン
ARC454A1 (付属リモコン)	KRC986A1 (増設リモコン)

② 現地設定メニュー

- 基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しする。(初回電源投入時は、長押しは不要です。)
- 警告画面が表示される。「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 確認画面が表示される。「◀▶」ボタンで「はい」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 現地設定のメニュー画面が表示される。メニュー一覧の内容は、以下の通りです。

現地設定メニュー一覧

パネル種類設定	
循環液設定	
ゾーン設定	※
給水運転	
試運転	
温度エリア設定	
ゾーン名登録	
サービス連絡先登録	

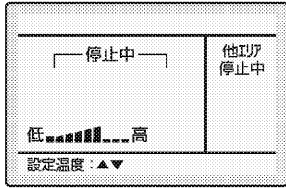
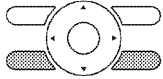
※必ず設定してください。

設定が完了すると「戻る」ボタンで基本画面に戻ることができます。

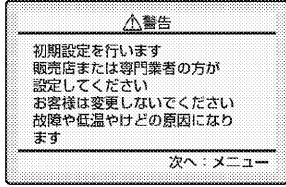
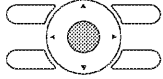
①試運転 現地設定メニューの設定を変更した場合を参照してください。

ただし、※部の設定が完了していないと基本画面に戻ることができません。

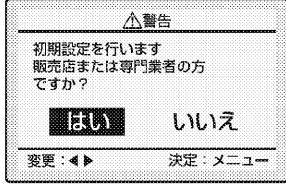
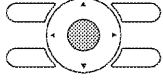
- <基本画面>

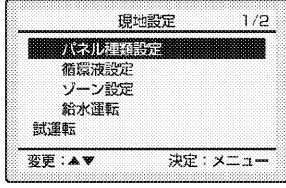

「戻る」ボタンを先に押しながら「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しする
- <現地設定警告画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
- <現地設定確認画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
- <現地設定メニュー画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す

③ パネル種類設定

- 現地設定メニュー画面で、「パネル種類設定」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- パネルタイプを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

パネル種類	パネル名	行き水温
タイプ1	エコリード	45~50℃
タイプ2	はるびより、ほっとびあA(N)12+リネア	50~55℃
タイプ3	ほっとびあA(N)12(リネア以外)、キュア真打、はるびよりツイン12	55~58℃
タイプ4	上記以外で高温出湯が必要なパネル※	58~60℃

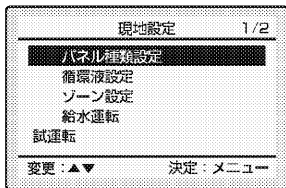
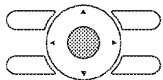
●上記以外のパネルに関しては、パネルメーカーに問い合わせてください。低温やけどのおそれのない設定にしてください。

※低温やけどの危険があるため注意してください。

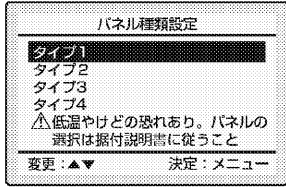
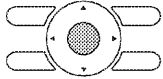
- 「はい」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

パネル種類設定画面で「戻る」ボタンを押すと現地設定メニュー画面に戻る。

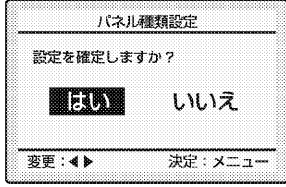
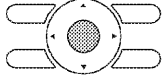
- <現地設定メニュー画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
 - <パネル種類設定画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
 - <確定確認画面>

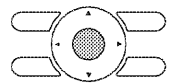
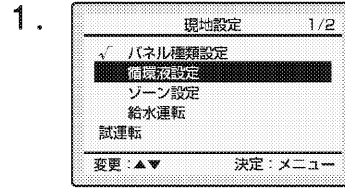



「メニュー/決定」ボタンを押す
- <現地設定メニュー画面>

4 循環液設定

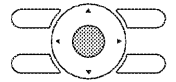
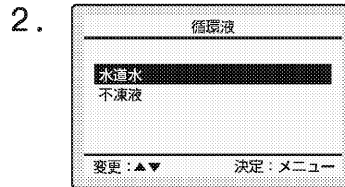
1. 現地設定メニュー画面で、**循環液設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 水道水か不凍液を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
●凍結のおそれのある場合は、不凍液を使用してください。
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



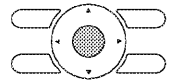
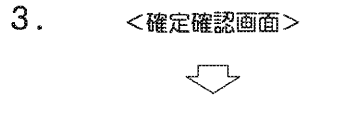
「メニュー/決定」ボタンを押す

<循環液設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<確定確認画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<現地設定メニュー画面>

5 ゾーン設定

●お客様と相談の上、設定してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2.

機種名	熱動弁の数	選択できるゾーン	ゾーン設定初期画面										
DMU36NV	2	A, B	<table border="1"> <tr> <td>熱動弁</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td rowspan="2">触らないで ください</td> </tr> <tr> <td>ゾーン</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>-</td> </tr> </table>	熱動弁	1	2	3	触らないで ください	ゾーン	A	A	-	
熱動弁	1	2	3	触らないで ください									
ゾーン	A	A	-										
DMU50NV	4	A, B, C, D	<table border="1"> <tr> <td>熱動弁</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ゾーン</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	熱動弁	1	2	3	4	ゾーン	A	A	A	A
熱動弁	1	2	3	4									
ゾーン	A	A	A	A									

「◀▶」ボタンで熱動弁1、2、(3)、(4)を選択します。
●DMU36NVの熱動弁(3)は触らないでください。
「▲▼」ボタンでそれぞれのゾーンをA、B、(C)、(D)の中から選択してください。
温水パイプを接続しない熱動弁(ヘッド)は“-”を選択してください。
ゾーンについての詳細は取扱説明書をご覧ください。

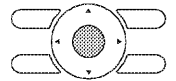
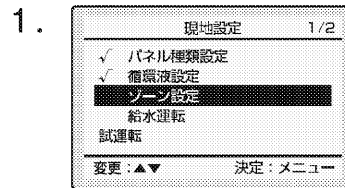
3. ゾーンを設定したら、「メニュー/決定」ボタンを押す。

※ゾーンはABCの順番で設定してください。
ABDのようにCを飛ばした場合、
ゾーン設定不良画面が表示されます。

【例】正しい設定……ABC AAB
間違った設定……ACD ACC
間違った設定の場合、「メニュー/決定」ボタンで
ゾーン設定画面に戻り、もう一度設定し直して
ください。

4. 正しい設定の場合、ゾーン設定確定確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>

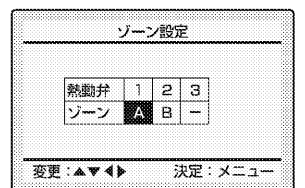


「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン設定画面>

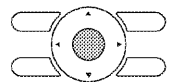
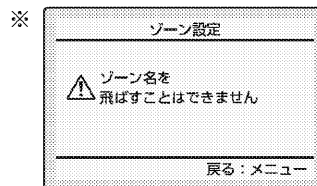


(DMU50NVの設定例)



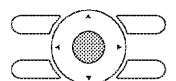
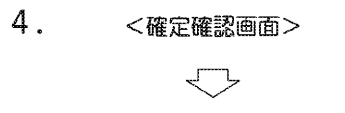
(DMU36NVの設定例)

<ゾーン設定不良画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<確定確認画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<現地設定メニュー画面>

⑥ 給水運転 ①

警告

床暖房ユニットに給水するときは、必ず前板を床暖房ユニットに取り付け、4本のネジで確実に固定すること。固定が不完全な場合、感電、火災の原因になります。

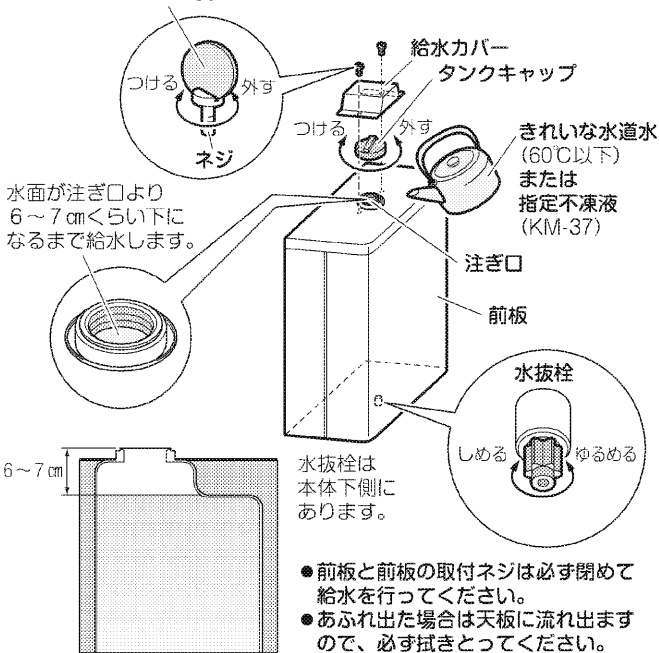
注意

- きれいな水道水(60℃以下)をご使用ください。井戸水、工業用水、添加剤、ゴミなどは入れないでください。
 - 不凍液を使用される場合は、指定の不凍液KM-37を使用してください。
- 不備があると、故障の原因になります。

1. 現地設定メニュー画面で、**給水運転** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
下記「給水のしかた」の要領で給水してください。
●給水せずにポンプを運転すると、ポンプの故障原因になります。

給水のしかた

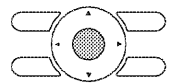
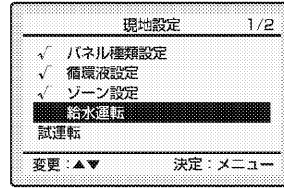
ネジを外すとき
コインなどを使うと便利です。



4. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
給水運転が開始する。
5. 給水運転は、約7分で自動的に終了する。
水位が下がるので水面が給水タンクの注ぎ口より6~7cmくらい下になるように水を補給してください。
6. 給水運転が終了すると、給水運転完了確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

<現地設定メニュー画面>

1.

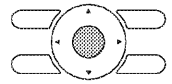
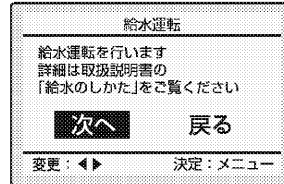


「メニュー/決定」ボタンを押す



<給水運転開始画面>

2.



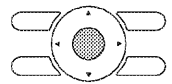
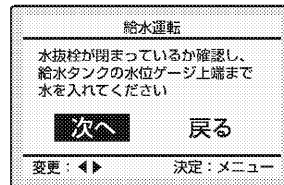
「メニュー/決定」ボタンを押す

- 取扱説明書の「長期間使わないとき」の「給水のしかた」をご覧ください。



<給水確認画面>

3.



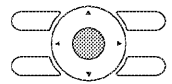
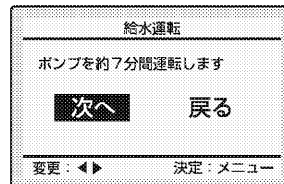
「メニュー/決定」ボタンを押す

- 本製品には水位ゲージはありませんので注ぎ口より6~7cmくらい下になるまで水を入れてください。



<給水ポンプ運転画面>

4.

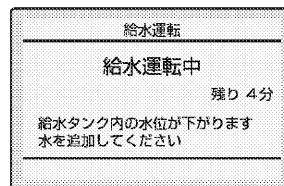


「メニュー/決定」ボタンを押す



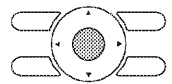
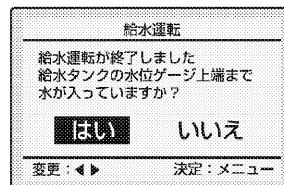
<給水運転中 タイマー表示画面>

5.



<給水運転完了確認画面>

6.



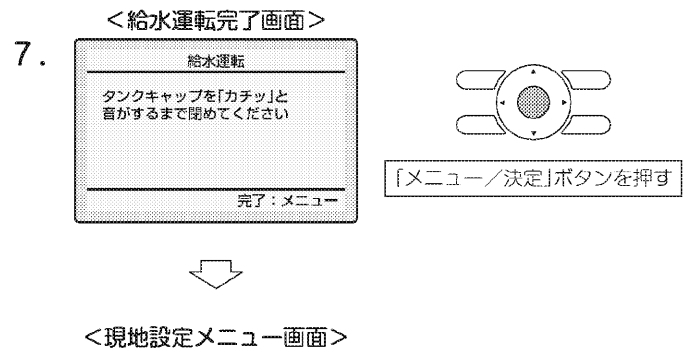
「メニュー/決定」ボタンを押す

- 本製品には水位ゲージはありませんので注ぎ口より6~7cmくらい下になるまで水を入れてください。



7 給水運転 ②

7. 給水運転完了画面が表示される。
「メニュー／決定」ボタンを押す。
給水運転を終了し、現地設定メニューに戻る。

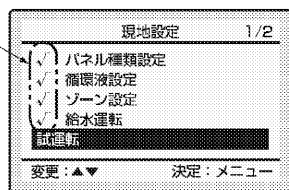


8 試運転

※室外ユニットの誤配線・誤配管チェックを実施した後に試運転を行ってください。

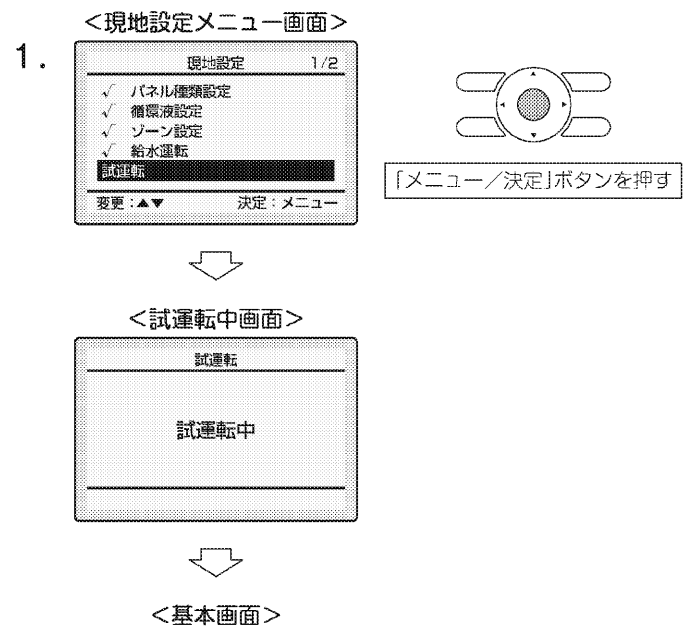
1. 現地設定メニュー画面で **試運転** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。

「✓」が表示されていることを確認してください。
「✓」はすでに設定していることを示します。
「パネル種類設定」、「循環液設定」、「ゾーン設定」、「給水運転」は試運転前に必ず設定してください。



※ **試運転** 前に他のエアコンを停止させてください。

2. 試運転中画面が表示される。
●約20～50分間運転後、自動的に停止し、基本画面に戻る。



試運転時の注意

- リモコンに異常コード「92」が表示された場合は、電源電圧を確認してください。
- リモコンに「給水運転を行ってください」が表示された場合は、水位、配管詰まり、誤配管、ゾーン設定間違い、パネル制約不良を確認してください。

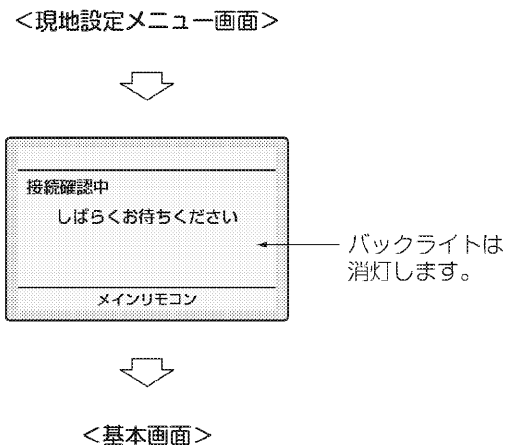
異常時	修正した後に給水運転を行い、もう一度試運転を行う。
正常時	給水運転を行った後、試運転として全ゾーン運転を行う。 (屋外温度が24℃を超えると、運転範囲を超えているので、試運転時に「給水運転を行ってください」と表示する場合があります。)

試運転後の注意

- 床暖房ユニットを運転していないときでも、水の凍結防止や水あかの付着防止のため、自動的にポンプを運転しますので、作業終了後もブレーカーを入れておいてください。水も常に入れたままにしておいてください。
- 冬期にお客様への引き渡しまでに電源ブレーカーを切られる場合には、凍結による機器の故障を防ぐため必ず水抜きを行ってください。引き渡し時に給水してください。(指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。)詳細は取扱説明書をご覧ください。
- 電源ブレーカーを切る場合は、必ずリモコンで停止してから電源を切ってください。

現地設定メニューの設定を変更した場合

各設定確定後、「戻る」ボタンを押すと、下画面が表示され、基本画面に戻ります。



9 温度エリア設定

※取扱説明書を確認しながら、お客様と相談の上、設定してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**温度エリア設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2. 「◀▶」ボタンでゾーンA、B、C、D、を選択し、「▲▼」ボタンでそれぞれエリアを設定する。
「I」か「II」を選択してください。

⑥ゾーン設定で設定しなかったゾーンは表示されません。

注)付属リモコンの場合

エリアIがメインエリアになります。

エリアIIが他エリアになります。

増設リモコンの場合

エリアIが他エリアになります。

エリアIIがメインエリアになります。

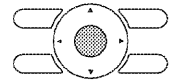
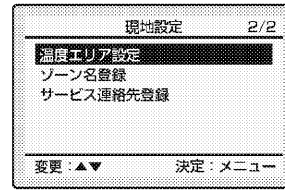
※エリアについての詳細は取扱説明書をご覧ください。

すべてのゾーンにエリアを設定し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>

1.

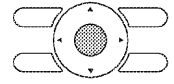


「メニュー/決定」ボタンを押す



<温度エリア設定画面>

2.



「メニュー/決定」ボタンを押す

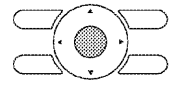


3.

<確定確認画面>



<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

10 ゾーン名登録

※取扱説明書を確認しながら、お客様と相談の上、設定してください。

以下のゾーン登録名から選択してください。

リビング1	子供部屋1	洗面所
リビング2	子供部屋2	トイレ
ダイニング	寝室1	風呂
キッチン	寝室2	登録なし

1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン名登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

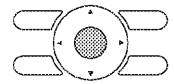
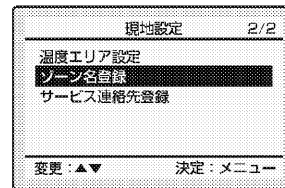
2. ゾーンAを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

3. ゾーン名を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
他のゾーンも2、3の手順で登録する。

4. すべてのゾーン名の登録後、**確定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>

1.

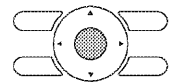
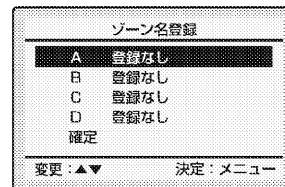


「メニュー/決定」ボタンを押す



<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>

2.

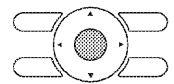
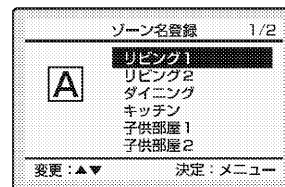


「メニュー/決定」ボタンを押す



<ゾーン名登録画面>

3.

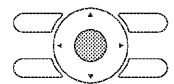
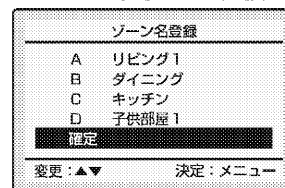


「メニュー/決定」ボタンを押す



<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>

4.



「メニュー/決定」ボタンを押す



<現地設定メニュー画面>

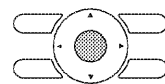
⑪ サービス連絡先登録

1. 現地設定メニュー画面で、**サービス連絡先登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **販売店** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで電話番号を入力する。
●左づめで入力し、余った桁は“-”のままにします。
※電話番号の間違いにご注意ください。
4. 登録後、「メニュー/決定」ボタンを押す。
5. 確定確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>

1.

現地設定	2/2
温度エリア設定	
ゾーン名登録	
サービス連絡先登録	
変更: ▲▼	決定: メニュー



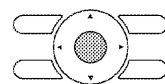
「メニュー/決定」ボタンを押す



<販売店連絡先登録設定画面>

2.

サービス連絡先登録	
なし	
販売店	
*コンタクトセンターは表示されます	
変更: ▲▼	決定: メニュー



「メニュー/決定」ボタンを押す

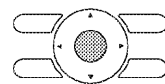


<販売店連絡先登録画面>

3.

4.

サービス連絡先登録	
電話番号登録(販売店)	
012-8- ----	
変更: ▲▼▶▶	決定: メニュー



「メニュー/決定」ボタンを押す



5.

<確定確認画面>



<現地設定メニュー画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す

登録内容の確認

1. 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **サービス連絡先/機種名** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. サービス連絡先表示画面が表示される。
●販売店の電話番号が登録されている場合は、販売店とダイキンコンタクトセンターの電話番号が表示されます。
●販売店の電話番号が登録されていない場合は、ダイキンコンタクトセンターの電話番号のみが表示されます。
「メニュー/決定」ボタンで、基本画面に戻る。

1.

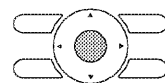
<基本画面>



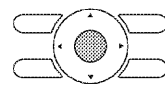
<メニュー画面>

2.

メニュー	1/3
タイマー時刻設定	
快適自動	
時計合せ	
サービス連絡先/機種名	
変更: ▲▼	決定: メニュー



「メニュー/決定」ボタンを押す



「メニュー/決定」ボタンを押す



<サービス連絡先表示画面>
(販売店連絡先が登録されているとき)

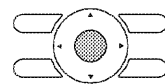
3.

サービス連絡先/機種名
販売店連絡先

ダイキンコンタクトセンター
0120-88-1081
機種名 DMU50NV
戻る: メニュー

<サービス連絡先表示画面>
(販売店連絡先が登録されていないとき)

サービス連絡先/機種名
ダイキンコンタクトセンター
0120-88-1081
機種名 DMU50NV
戻る: メニュー



<基本画面へ>

「メニュー/決定」ボタンを押す

12 時計合せ

1. 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。

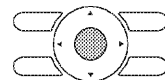
2. メニュー画面が表示される。
時計合せ を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで【時(0~23)】【分(00~59)】を設定、「メニュー/決定」ボタンを押す。

4. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
 設定した内容が確定され、基本画面に戻る。

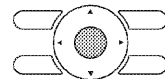
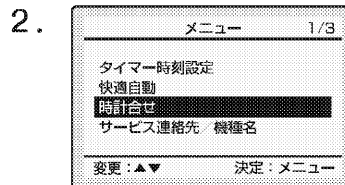
- 2台のリモコンを使用している場合は、片方を時刻設定するともう一方も同じ時刻に設定されます。(最大1分のずれがあります。)
- 床暖房ユニットが複数台接続されている場合は、各床暖房ユニット毎のリモコンで時刻合せが必要となります。

1. <基本画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

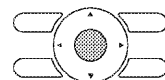
<メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す



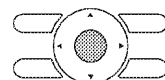
<時刻設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す



4. <確定確認画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<基本画面へ>

お願い

- 保証書に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の裏表紙の**初期設定の記録**に初期設定情報を記入し、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特に運転操作のしかた、および温度調節のしかた)をご説明ください。